人材育成事業

1. 人材育成事業の概要

1.1 初任者向け災害廃棄物処理説明会

初任者向け災害廃棄物処理説明会を開催した。開催概要は次のとおりである。

図表 7-1 初任者向け災害廃棄物処理説明会の開催概要

開催日時、場所、 参加者数	プログラム		
令和 4 年 5 月 30 日 (月)	◇主催者挨拶		
13:30~15:35	環境省近畿地方環境事務所 資源循環課 課長 山根 正慎		
AP 大阪茶屋町 A ルーム	◇講演 1		
(オンライン同時配信)	「災害廃棄物処理の概要」		
参加者数:114名	近畿地方環境事務所資源循環課 課長補佐 林 篤嗣		
・集合参加:21名	◇講演 2		
・オンライン参加:93名	「災害廃棄物処理に向けた環境省の取組」		
※対象:近畿ブロックの	近畿地方環境事務所資源循環課 係員 磯野 祐輔		
市町村等初任者	◇講演 3		
	「災害廃棄物に係る補助金制度について」 近畿地方環境事務所資源循環課 首席廃棄物対策等調査官 井上 昭男		

1.2 中小規模市町村を対象とした研修

中小市町村をターゲットに、災害時のし尿処理や一部事務組合と連携した災害廃棄物処理事業に関する内容について勉強会を開催した。開催概要は次のとおりである。

図表 7-2 中小規模市町村を対象とした研修の開催概要

開催日時、場所、 参加者数	プログラム	
令和 4 年 8 月 22 日 (月) 13:30~16:00	◇主催者挨拶	
13.30~10.00	環境省近畿地方環境事務所 資源循環課 課長 山根 正慎	
AP 大阪茶屋町 A ルーム	◇講演 1	
(オンライン同時配信)	「災害時におけるトイレ・し尿処理対策」	
	大正大学 地域創生学部 地域創生学科 教授 岡山 朋子氏	
参加者数:90 名		
•集合参加:12 名	◇講演 2	
・オンライン参加:78 名	「災害時のし尿処理施設の対応に係る課題と対策」	
※対象:近畿ブロック(2	大洲市環境センター 次長 森岡 照久氏	
府4県)の府県・市町	大洲・喜多衛生事務組合 専門員兼業務係長 白石 学氏	
村・一部事務組合のご		
担当者等		

1.3 課題別研修会

災害廃棄物の収集運搬をテーマとして、受援側、支援側の立場からの事例紹介を課題別 研修会として開催した。開催概要は次のとおりである。

図表 7-3 災害廃棄物処理担当者向け勉強会の開催概要

開催日時、場所、 参加者数	プログラム
近畿ブロック第 2 回 令和 4 年 12 月 20 日 (火) 13:30~16:00 AP 大阪駅前 AP ホール I (オンライン同時配信)	◇主催者挨拶 環境省近畿地方環境事務所 資源循環課 課長 山根 正慎 ◇講演 1 「令和 2 年 7 月豪雨における収集運搬の対応とその課題」 熊本県八代市 循環社会推進課 課長 田中 和彦氏
参加者数:95名 ・集合参加:20名 ・オンライン参加:75名 ※対象:近畿ブロック(2 府4県)の府県・市町村・一部事務組合のご担当者等	◇講演 2 「支援側の立場から見た収集運搬の課題と今後の対策」 特定非営利活動法人 京都府京都市 環境政策局 山科まち美化事務所 所長 関 義樹氏 ◇講演 3 「災害廃棄物の収集運搬の実情」 広島県広島市 環境局業務部業務第一課 主査 金近 尚憲氏
	◇参加者による意見交換 「収集運搬の支援と受援のよりよい協働のあり方」 パネリスト:八代市 田中 和彦氏 京都市 関 義樹氏 広島市 金近 尚憲氏 司 会:近畿地方環境事務所 若林 完明氏

※講演3及び参加者による意見交換において広島県広島市環境局施設部玖谷埋立地管理事務所の中原 剛造主査が参加される予定であったが、体調不良により当日欠席となった。

参考)近畿地方環境事務所セミナー等一覧(過年度)

年度	近畿地力環境事務所でミナー寺 見 (週午及) セミナー等表題・講師			
		主催者挨拶		
		環境省近畿地方環境事務所 資源循環課 課長 山根 正慎		
		「災害廃棄物処理の概要」		
	初任者向け災害	近畿地方環境事務所資源循環課 課長補佐 林 篤嗣		
	廃棄物処理説	「災害廃棄物処理に向けた環境省の取組」		
	明会	近畿地方環境事務所資源循環課 上野 友輔		
		「災害廃棄物に係る補助金制度について」 近畿地方環境事務所資源循環課		
		过藏地万埭境事份所真源循埭床 首席廃棄物対策等調査官 井上 昭男		
		主催者挨拶		
	※ 宇 広 苺 畑 加 田	環境省近畿地方環境事務所 資源循環課 課長 山根 正慎		
	災害廃棄物処理 担当者向け勉	「災害廃棄物に係る住民啓発の取組み」		
令和	強会	茨木市産業環境部資源循環課 連携調整係		
3	近畿ブロック第	係長 岸本 美香保氏		
	1 回	「災害発生時の行政事務について」 横浜市資源循環局 産業廃棄物対策課		
		監視指導担当課長 茶山 修一氏		
		主催者挨拶		
		環境省近畿地方環境事務所 資源循環課 課長 山根 正慎		
	災害廃棄物処理	「災害廃棄物アプリを用いた研修」		
	担当者向け勉	京都大学大学院地球環境学堂 准教授 浅利 美鈴氏		
	│ 強会 │近畿ブロック第	京都大学大学院地球環境学堂 教務補佐員 益田 明奈氏 「災害廃棄物処理における災害ボランティアとの連携」		
		「火音焼業物処理における火音ボックティッとの建榜」 特定非営利活動法人		
		全国災害ボランティア支援団体ネットワーク		
		事務局長 明城 徹也氏		
		「災害廃棄物処理における災害ボランティアの活躍」		
	1 > 1	内閣府防災担当参事官補佐 市川 琢己氏		
	セミナー ・災害廃棄物処理	防災落語「それ、ゴミやおまへんで、被災財でっせ」 ゴスペル亭パウロ防災士・関西キリスト災害ネットワーク		
	の実態と廃棄	フリスチャン防災士ネットワーク世話人 小笠原 浩一氏		
	物対策に伴う	「災害廃棄物に対する市民の行動促進に向けた戦略」		
令和	啓発・支援	国立研究開発法人国立環境研究所特別研究員 森 朋子氏		
2		「災害廃棄物処理現場からの報告」		
		公益社団法人全国都市清掃会議総務部長 大川 敏彰氏		
	研修・学習会 ・風水害等に係る 災害廃棄物対	「平成26年8月豪雨及び平成30年7月豪雨における広島市災 害廃棄物処理」		
		古虎朱初远柱] 広島市環境局 業務部長 林 篤嗣氏		
		「災害発生時の行政事務を徹底解説~ダイヤモンドプリンセス号		
	策勉強会	の廃棄物対応から得られた知見も交えて~」		
		横浜市資源循環局 車両課長 茶山 修一氏		
		「近年の災害における廃棄物対策 (台風 19 号に伴う福島県の災害 廃棄物対応を交えて)」		
令和 元		廃業物対応を父えて)」 環境省大臣官房環境影響評価課環境影響審査室		
	セミナー ・頻発する多様な 災害による災			
		京都府府民環境部循環型社会推進課		
		循環・リサイクル担当技師 増田 清孝氏		
	火告による火	奈良県くらし創造部景観・環境局環境政策課		
	音焼業物処理 の課題と人材 育成	主任主事 桒原 智也氏 京都府京都市環境政策局循環型社会推進部まち美化推進課		
		京都州京都市環境政策局循環至社会推進命より美化推進訴 課長 宮本 博市氏		
		大阪府堺市環境局環境事業部環境事業管理課		
		主査 福田 智秋氏		
		「災害に強い廃棄物処理システムをつくる」		

年度	区分	セミナー等表題・講師
		国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター
		主任研究員 多島 良氏
		「住民に寄り添った災害廃棄物対応に向けて」
		京都大学大学院地球環境学堂 准教授 浅利 美鈴氏
	研修・学習会	「平成 27 年 9 月関東・東北豪雨の経験から」 茨城県常総市産業振興部生活環境課課長補佐 渡邊 高之氏
	第1回	「災害廃棄物処理行政事務のあらまし」
	(初任者研修)	横浜市資源循環局車両課長 茶山 修一氏
	研修・学習会	「熊本地震における災害廃棄物処理事業(公費解体)への取組に
	第2回	ついて」 ************************************
	(解体廃棄物学	熊本市経済観光局観光交流部副課長 住谷 憲昭氏 「被災建物の公費による解体撤去と事務について」
	習会)	横浜市資源循環局車両課長 茶山 修一氏
		「災害廃棄物対策指針改定及び平成30年7月豪雨災害における廃
		棄物対策について」
		環境省近畿地方環境事務所 廃棄物・リサイクル対策課
		課長 山根 正慎 「災害廃棄物処理に関する被災者の意識や行動について」
	セミナー	「災害廃棄物処理に関する被災者の急職や打動にづいて」
	第1回	「大阪北部地震における災害廃棄物対策について」
	・大阪北部地震に	大阪府環境農林水産部循環型社会推進室資源循環課
	おける災害廃	参事 奥田 孝史氏
	棄物対策につ いて 他	「被災自動車の処理に係る手引書・事例集(自治体担当者向け)」について」
		について」 (公財)自動車リサイクル促進センター
		MS&AD インターリスク総研株式会社リスクマネジメント第一部
		災害リスクグループマネジャー 上席コンサルタント 本間 基照氏
		「多発する大災害での廃棄物処理の現況―自治体の災害対応でど
平成		う位置付けられているか。ハリケーン・イルマへの対応と比較し
30		T-J
		神戸学院大学 現代社会学部社会防災学科 教授 安富 信氏
		「産官学が連携し、オール関西で災害に備える!」 京都大学大学院地球環境学堂 准教授 浅利 美鈴氏
		パネルディスカッション
	セミナー	「頻発する災害と近畿圏の被害、災害廃棄物処理対策」
	第2回	◎コーディネーター:
	・頻発する自然災 害における自	京都大学大学院地球環境学堂 准教授 浅利 美鈴氏 ②パネラー(順不同):
	当にありる目 治体の廃棄物 処理対策	回ハネラー(順不同): 神戸学院大学現代社会学部社会防災学科 教授 安富 信氏
		大阪府環境農林水産部循環型社会推進室資源循環課
		参事 奥田 孝史氏
		舞鶴市市民文化環境部環境対策室 室長 平野 広道氏
		堺市環境局環境事業部環境事業管理課 主幹 水谷 臣氏 近畿地方環境事務所廃棄物・リサイクル対策課
		近畿地乃環境事務所廃棄物・リリイグル対象は 課長 山根 正慎
		応用地質株式会社地球環境事業部資源循環マネジメント部
		部長 眞鍋 和俊氏
	セミナー	「災害廃棄物対策の最新事情」 公共財団法人 廃棄物・3 日研究財団 研究参与 宮田 半専氏
平成 29		公益財団法人 廃棄物・3 R研究財団 研究参与 高田 光康氏 「東日本大震災における災害廃棄物処理の実態」
		気仙沼市 市民生活部廃棄物対策課 課長補佐 佐藤 克美氏
		「事業者が考える災害廃棄物処理対応 一船舶を用いた災害廃棄
		物処理についてー」

年度	セミナー等表題・講師			
十尺	区刀			
		大栄環境株式会社 営業部 課長代理 早川 宏明氏		
		「災害廃棄物処理の適切な初動対応に向けて」		
		国立研究開発法人国立環境研究所		
		資源循環・廃棄物研究センター・		
平成	6 > ⊥	災害環境マネジメント戦略推進オフィス 研究員 多島 良氏		
28	セミナー	「東日本大震災 現場からの証言 復興に向けての課題と提言」		
		一般社団法人仙台建設業協会 副会長 深松 努氏		
		「災害廃棄物処理の実効性・安全性・信頼性向上に向けて」		
		京都大学大学院 地球環境学堂 准教授 浅利 美鈴氏		
		「大規模災害廃棄物処理について~東日本大震災等の事例から~」		
		一般財団法人 日本環境衛生センター西日本支局 環境工学部		
+		技術審議役 宗 清生氏		
平成 27	セミナー	「東日本大震災により発生した災害廃棄物等の処理について		
21		~実績と今後の課題について~」		
		鹿島建設株式会社 東北支店 富岡町廃棄物処理業務		
		副所長 松原 武志氏		
		「東日本大震災津波により発生した災害廃棄物の処理における		
平成	セミナー	岩手県の取組について~被災自治体の取組とは~」		
		岩手県環境生活部廃棄物特別対策室 特命課長 千葉 実氏		
26		「東日本大震災により発生した災害廃棄物等処理への取組み		
		~何が起こり、どのように処理し、何が活かせるのか~」		
		株式会社奥村組東北支店 技術部長 埜本 雅春氏		

注. 所属、職位は実施時点のもの

2. 参加者アンケート

説明会や研修会の参加者向けにアンケートを実施した。 アンケート結果を以下に示す。

(1) アンケート結果 (初任者向け災害廃棄物処理説明会)

①参加者の所属

アンケート回答者は99%自治体職員、その他1%であった。

図表 7-4 参加者の所属

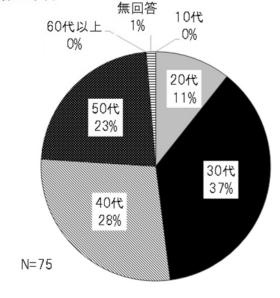
所属	回答数	回答率
自治体職員	74	99%
その他	1	1%
無回答	0	0%
合計	75	100%

②参加者の年代

アンケート回答者の年齢は、37% が30代、次いで40代が28%、50代が23%であった。

図表 7-5 参加者の年代

参加者の年齢	回答数	回答率
10 代	0	0%
20 代	8	11%
30 代	28	37%
40 代	21	28%
50 代	17	23%
60 代以上	0	0%
無回答	1	1%
合計	75	100%

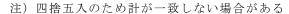


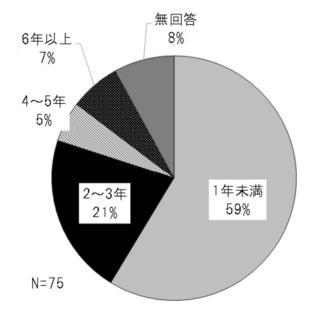
③参加者の現在の部署の所属年数

アンケート回答者の所属年数は、59%が1年未満、次いで2~3年が21%、6年以上が7%であった。

参加者の年齢	回答数	回答率
1年未満	44	59%
2年~3年	16	21%
4~5 年	4	5%
6年以上	5	7%
無回答	6	8%
合計	75	100%

図表 7-6 参加者の現在の部署の所属年数



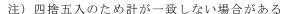


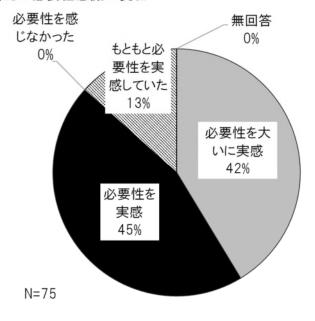
④災害廃棄物処理対策の事前の備えの必要性意識の変化

セミナー参加前後の意識の変化は、セミナーを受講し必要性を「大いに実感」、「実感」 した回答が87%であり、セミナーを通じて災害廃棄物処理対策の事前の備えに対する意 識の向上につながったと考えられる。

回答率 項目 回答数 必要性を大いに実感 31 42% 45% 必要性を実感 34 0 必要性を感じなかった 0% 10 13% もともと必要性を 実感していた 0 0% 無回答 75 100% 合計

図表 7-7 事前の備えの必要性意識の変化





図表 7-8 興味を持った事項等

項目	図表 7-8 興味を持った事項等			
対応 ・災害廃棄物は一般廃棄物扱いとなりますが、被災取りた事業者が排出する自治体に呼ごまず処理責任があるのか教元は同いて、・災害廃棄物型の概要・災害廃棄物型の概要・災害廃棄物とは何か?といった法的な説明・災害廃棄物とは何か?といった法的な説明・災害廃棄物とは何か?といった法的な説明・災害廃棄物とは何か?といった法的な説明・災害廃棄物の理事業者との連携等)について実例等も含め、より詳しく聴きたかった。・災害廃棄物の理は係るより具体的な話、事また、近で見体的ななるので、市町や部事務が初心者なので、全て詳しく、聴きたいです。・災害廃棄物の担に係るより具体的な話、事また、近で見体的なな知りにかった。・廃棄物関係の事形と方に関連類形に表ことが含ったも名が表定は対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	項目	興味持った事項、参考になった事項、必要と感じる事項		
でみ、(明らかに産廃となる事業用資産を含む)の取り扱いについて、自治体にどこまで処理被要 ・災害廃棄物処理何か?といった法的な説明 ・災害廃棄物を処理していく場合の解体・大きのから、より詳しく聴きたかった。 ・災害廃棄物を処理していく場合の解体・大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、	災害廃棄物処理	〇要望		
治体にどこまで処理責任があるのか教えて頂ければ幸いです。 ・災害廃棄物と処理していく場合の解体ごみの処理スキーム(産業廃棄物 ・災害廃棄物を処理していく場合の解体ごみの処理スキーム(産業廃棄物 ・災害廃棄物を処理していく場合の解体ごみの処理スキーム(産業廃棄物 ・災害廃棄物を処理していく場合の解体ごみの処理スキーム(産業廃棄物 ・災害廃棄物を処理していく場合の解体ごみの処理スキーム(産業廃棄物 ・災害廃棄物を処理していて実例等も含め、より詳しく聴きたかった。 ・災害廃棄の処理に係るより具体的な話、事例(仮置き場、処理場での問 ・選等)についており詳しく聞きたかった。また、いて具体的な取る取りとので、市町や一部事務組合、県との連携について具体的な取りをを知りたかった。 ・廃棄物関係のの事務が初心者なので、全て詳しく聴きたい理解できた。風水 ・実害廃棄物の出し方に関する広報が重要であることが理来ない場が、なかで一スでどのより可能な広報(情報発信)が高力であったの大に関する事項に無に会しまり、のの理工場側の計解を廃棄物 ・受け入れに関する事項に無に会しておけるみについる。・災害時の豊の処理処分について、災害時の豊の状のにの近れて、災害時の豊の状のにの近れて、災害時の豊の状のにの近れて、近常である事のが多く、焼却でわれていたて、通常で多くがられていた。 ・事事所から出ておるにつくいかりを記載している場合に何から進め ・対害時においても同じように適用されるのか等、事業系のごみについて ・災害時の世の状のためにでありないに、より詳しくお聞きしたいと思いました。・の内容を詳しく聞きたかったで優の取扱い・家電リサイクルの取り扱いについて、より詳しくお間をしたの日に変になるに、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進め ・対策を見いた。・変をリサイクルでより対応に応かった、より詳しくいと思いました。 ・薬者になった事項:初勤対応のボイント「か・き・く・け・こ」 ○感想 ・災害物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要変だといことで表に表しないに対しならないことを表したのでがよりました。 ・炎害物の処理について、、対験はならた。 ・本市でも水害によるは表があったとはいました。 ・炎害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。 ・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。 ・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。 ・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。 ・災害対応の事例紹介は、経験のないわずかった。4月に環境部配属なった。り、まれ計画の理解がすまでだと感じた	対応	・災害廃棄物は一般廃棄物扱いとなりますが、被災した事業者が排出する		
・災害廃棄物処理の概要 ・災害廃棄物とは何か?といった法的な説明 ・災害廃棄物とは何か?といった法的な説明 ・災害廃棄物を地でしていく場合の解体ごみの処理スキーム(産業廃棄物 処理事業者との連携等)について実例等も含め、より詳しく聴きたかった。 ・災害廃棄物処理に係るより具体的な話、事例(仮置き場、処理場でことになるので、市町や一部事務組合、県との連携について具体的な取り組みを知りたかった。。 ・廃棄物関係の事務がの出る広報が重要であることが野体できた。風水ど、災害廃棄物の出し方に関する広報が重要であることが野体できた。風水ど、災害を強力という災害の種類や住民が避難所に来る場合、実われる術人を知りであるなが、様知りたい。 ・災害降の状況により可すな広報(情報発信)が有効であった。実例を知りたい。 ・現場での災害内部な広報(情報発信)が有効であったの実例を知りたい。 ・現場での災害廃棄物処理や動き方と同時に、処理工場側の詳細な廃棄物をしたい。 ・現場での災害廃棄物処理や動き方と同時の最近は水分を多く含んまりたい。 ・災害時の量の処理処分について、災害時の量が、これまで災害時に多いのがある人焼却では拡えにくいか教えで頂きたい。 ・事業所から出たでは成えにくいか教えで頂きたい。 ・事業所がら出たでおれていては、通常は、一廃と産廃に分けられますが、災害時においても同じように適す。 ・自治体で受け入れる程度・企産の取扱い・家電リサイクルのと問きたかった産の取扱い・家電リサイクルのと思いました。 ・事前においても同じかった産の取扱い・家電リサイクルのも程度・にのいて、より詳しくお聞きしたいと思いました。 ・事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めていくべきけんときの対応について、より詳しくお聞きしたいと思いました。 ・事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めていくべきかの企業による被害があったとりました。と、書前ではなることでの分別に紹かないた。		ごみ(明らかに産廃となる事業用資産を含む)の取り扱いについて、自		
・災害廃棄物を処理していく場合いて決例等は、より詳しく聴きたかった。 ・災害廃棄物を処理していく場合いて、場合、より詳しく聴きたかった。 ・災害廃棄物を処理に係るより具体的な話、事例(仮置き場、処理場での問題等)については、解して、実力にないで、実力にないでは、解して、なるので、ので、全て詳しく聴きたいです。 ・災害廃棄物の出し方に関連をなる、全て詳しく聴きたいです。 ・災害廃棄物の出し方に関連をなるとが理察できた。風水との選携については、なるので、方に関連をなる。で、全では、なって、全ので、のは、なかったのは、なかった。場別関係のので、全て詳しく聴きたい理解できた。風水と、実容や地震という災害の構類が世界政治を対して、なるので、会ので、会ので、会ので、会ので、会ので、会ので、会ので、会ので、会ので、会		治体にどこまで処理責任があるのか教えて頂ければ幸いです。		
・災害廃棄物を処理していく場合の解体ごみの処理スキーム(産業廃棄物処理事業者との連携等)について実例等も含め、より詳しく聴きたかった。 災害廃棄物処理に係るより具体的なお話、事例(仮置き場、処理場での問題等のいてからかされるが表しているるので、市から計しく関きたいです。 実施業務 処理は係るより具体的なお話、事例にでは、は域で具体的な取り組みを知りたかった。 ・廃棄物関係の事務が初心者なので、全て詳しく聴きたいです。 災害廃棄物の出し方に関種類や住民が選難所に来る場合、来なれるがを操っなケースでどのような広報 (情報発信)があるったとが考えたかの実例を知りたい。 ・現場での災害廃棄物処理を制き方と同時に、処理工場側の詳細な応知をがあったい。 ・ 災害時の畳の処理処対についてい物と記録され、これまでのが多く、続知では燃えにくい物をと同時に、処理工場側の詳細な応見が行われていたのが多る。 が選手ののが多く、続知では燃えにくい物を関するが、これますが、災害時の畳の処理を見について、対害時の畳を化、これを多く含さんでいるものが多く、続知では燃えにくい物を記頂きたい。 ・事業所ら出たごみに運用されるのか等、事業のごみについては、対害時において間きたかった廃の取扱い・家電リサイクルの取り扱いについて、より詳しくお聞きしたいと思いまで関手によりは、大きに関していて、で、実書が発生したときの対応について、より詳しくお聞きしたいと思いまで、実事が発生したときの対応について、より詳しくお聞きしたいと思いまでは、計算は、計算は、計算は、対策を表して、は、計算は、対策を表して、は、対策を発していては、一つ、表にないと、表にないと、表にないと、表にないと、表にないと、表にないと、表には、対策を発しました。 ・ 本市でもなことで、混乱をおめないような対応を考えられるばには、対策を発していて、知動対応の手引き(環境等の内容確認・把握の必要性を感じた・ 災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。 ・ 災害対応の事例紹介は、経験のないの手引き(環境部配属なり、方が対しれば、経験のない者には大変参考となりました。 ・ 災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。 ・ 災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。 ・ 災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変を考となりました。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		・災害廃棄物処理の概要		
型理事業者との連携等)について実例等も含め、より詳しく聴きたかった ・災害廃棄物処理に係るより具体的な話、事例(仮置き場、処理場での問題等)についてより詳しく聞きたかった。また、広域で処理するとになるので、市町や一部事務組合、県との連携について具体的な取り組みを知りたかった。 ・廃棄物関係の事務が初心者なので、全て詳しく聴きたいです。 ・災害廃棄物の出し方に関するでは武力をあることが表し、場合を知りたかった。 ・廃棄物関係の事務が初心者なので、全て詳しく聴きたい理解できた。風水害や地震という災害の種類や住民が選難所に来る場合、来ない場合を知りたい。 ・現場での災害廃棄物の理理や制度を対して、近くであるものが多く、焼却では燃えにくい物と認識するが、これを関切があるく。含んでいるものが多く、焼却では燃えにくい物と認識するが、。 ・災害時の豊の担心分について、、近時の豊かの大きではどのような処理が行っいて、火田での取るがある。 ・事業所から出ておけたのかま、通常は、一康と産廃に分けられますが、災害時においても同じように適用されるのか等、事業系のごみについて、災害が発生したと問きたかったでの取扱い・家電リサイクルの取り扱いについて、より詳しくお聞きしたいと思いました。 ・事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めていく、きずしたという方にでついて、、以書が発生したと思いました。 ・事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めている、できずになった事項・初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 ○感想 ・災害廃棄物の処理については、善段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だと応じる被害があった経験もあり、これからの時期は注意が必要になる。今回の話は担当とすべてり具味深かった。 ・市民にどこまが書にした。 ・本市でもなくことや初動対応などすべてもらうか、汚れや訳合物も多いと考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければないまっながに表現で、浪乱を招かないような対応を考えているなけた。 ・災害時に大切な「かき、非正履の要権がまず第一だと感じた・災害時に大切な「かきくけこ」は解がを考えとなりました。		・災害廃棄物とは何か?といった法的な説明		
た ・災害廃棄物処理に係るより具体的な話、事例(仮置き場、処理場での問題等)についてより詳しく聞きたかった。また、広域で処理することになるので、市町や一部事務組合、県との連携について具体的な取り組みを知りたかった。 ・廃棄物関係の出し方に関する広報が重要であることが理解できた。風水害や地震という災害の種類や根氏が避難研ら来るいる考へを大力であった。 ・現場での災害廃棄物の理理や動き方と同時に、処理工場側の詳細な廃棄物を知りたい。 ・現場での災害廃棄物処理や動き方と同時に、処理してみたい。 ・災害時の量の処理や動き方と同時に、処理してみたい。 ・災害時の量の処理を動き方と同時に、処理してみたい。 ・災害時の量の処理を動き方と同時に、処理してみたい。 ・災害時の者の必要を難していいて、数と認識きた。のが多く、焼却でわれていたのか多が、これまで災害害はどのような処理がけれていたのいると認識きた。。 ・事業所から出たごみについには、一廃と、事業系のごみについて、災害職等を持ちないるとのの内容を詳しく問きたかったです。 ・自治体で受け入れる程度・産産の取扱い・家電リサイクルの取り扱いについて、より詳しくお聞きしたいと思いました。 ・事前準備(計画策定と、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めている、さか、手集等の処理について、より詳しくお聞きしたいと思いました。 ・事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めている。があり詳しく聴きたかった内容・参考になった事項:初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 ○ 感想 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だと感じました。 ・本市でも水害による被害があった経験もあり、これからの時期は注意が必要になる。今の話は担当としててに実施計画的なものの整備が必要だと感じました。 ・本市でも水害によるを感じなべて、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・対域の必要性を感じた。 ・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・対域の必要性を感じた。 ・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・対域の必要性を感じた。 ・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・対域の必要性を感じた。 ・災害時に大切な「かきないとにして、災害時、初動対応が大事なんで、初助対応の手引き(環境省)の内容確認・対域の必要にないまではかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた。		・災害廃棄物を処理していく場合の解体ごみの処理スキーム(産業廃棄物		
・災害廃棄物処理に係るより具体的な話、事例(仮置き場、処理場でことになるので、市町や一部事務組合、県との連携については具体的な取り組みを知りたかった。・廃棄物関係の事務が初心者なので、全て詳しく聴きたいです。・災害廃棄物の出し方に関する広報が重要であることが理解できた。風水害や地震という災害の種類や住民が異難研に来る場合、来ない場を知りたい。・現場での災害廃棄物処理や動き方と同時に、処理工場側の詳細な序、変物、の災害廃棄物処理や動き方と同時に、処理工場側の詳細な廃棄物、受け入れに関処理処分について、災害時の畳の処理が合っない、災害時の畳の処理が合っない。・災害時の畳の処理が合っない。・災害時の畳の処理が合っない。・災害時の畳の処理が合っない。・災害時の畳のが多く、のが多く、のがあるでは、これでは、過ぎまで、の大きを、のからとない。・事業所の出たごみにとのか教えでは、適さいで、災害時においても同じように適用されるのか等、事業系のごみについて、災害時においても同じように適用されるのか等、事業系のごみについて、災害が発生したときの対応について、より詳しくお聞きしたいと思いまで、実害が発生したときの対応について、より詳しくお聞きしたいと思いまで、実書が発生したときの対応について、より詳しくお聞きしたいと思いま、まずが、実でが発生したときの対応について、より詳しくお聞きしたいと思いま、事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めていくで、対していては、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要と感じました。・本市でも水害による話とがあった経験もあり、これからの時期は注意が多考になったまによる法をがあった経験もあり、これからの時期は注意が必要になる。今回の話は担当とでベで現味深かった。・本市民にどこまでごまの対別に協力いような対応を考えていかなければならないと感じた。で、混乱を招かないよもらうないたの場にないまで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた、、切割対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。・災害時、初勤対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。・災害時に大切な「かきくけ」にはかりやずかのた。4月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた				
題等)についてより詳しく聞きたた。また、広域で処理する取り組みを知りたかった。 ・廃棄物関係の事務が初心者な広報が重要である。大いできた。風水害や地震ないがつかった。 ・廃棄物関係の事務が初い者な広報が重要である。大い、場合は、大い、場合は、大いなが、大いの災害廃棄物の出し方の種類が異なることが考えられるが、様知ななケースでどのような広報(情報発信)が有効であったかの実例をなかか、大いのの災害廃棄物処理や動き方と同時に、処理工場側の詳細な廃棄物受け入れに関する事項に焦いたのが教えては、かない。合きを関すられていいでは、適れてみたい。会のが多く、理が行われていいでは、適れない。と産廃に分けられますが、災害時においても同じように適用されるのか多をまで災害・いるとのが多く理が行われていいでは、適れるの、多事業所がら出たで最いの内容を詳しくれて関うに適用されるのから出たで受け入れる印度とを廃の取扱い・事業のごみについて、より詳しくお聞きしたいと思いまの内容をで受け入れの取り扱がについて、より詳しくお聞きしたいと思いま、第書リサイクルの取り対応について、より詳しくお聞きしたいと思いま、第書が発生したときの対応について、より詳しくお聞きしたいと思いま、事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めていくべきがより対応については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要がと感じる被害があった内容・参考になった事項:初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」の感想・炎害対応を認じる被害があった経験もあり、これからの時期は注意が必要になる。今回の話は担当なないの本の本のによれて、は、音段からの準備、実施計画的なものの整備によるないとで、表別対応のが大きによる対応ない、方れや記さいない、方による物は対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた、災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。・災害時に対切な「かまればりのない者には大変参考となりました。・災害時に大切な「かまればしのする。とりました。・災害時に大切な「かまればりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた。・災害時に大切な「かまればりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた。・災害対応の事例紹介さくけに」は対応の事のとなりました。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
なるので、市町や一部事務組合、県との連携について具体的な取り組みを知りたかった。 ・廃棄物関係の事務が初心者なので、全て詳しく聴きたいです。 ・災害廃棄物の出し方に関類な報の手段が避難なることが理解できた。風水害や地震という災害の稚類を報りを表えられるが、様知りたい。 ・現場での状況によりする広報(情報発生)があった。人の一次でどのような広報(情報発生)があった。人の一次である場合、来なりたい。 ・現場での災害廃棄物処理地動き方と同時に、処理工場側の詳細な廃棄物受け入れに関する事項に焦点を当災害時の畳はかいてみらんではどのが多く、焼却にいてい物と認識するが、これまでのが多く、埋が行われていたのか教通常もにいる。 ・事業所からいて間きたかった。のか等。本業系のごみについて、災害時においても同じかった底の取扱い・家電リサイクルの取り扱いについて、より詳しくお聞きしたいと思いました。 ・自治体で受け入れる財扱のについて、より詳しくお聞きしたいと思いました。 ・事業所がはいたのからを詳しくいる場合に何から進めている場合に何から進めている。 ・事業があるとして、最初対応のです。 ・自治体では、計画策定、仮置場の設定等が遅れている場合に何から進めていくべきより詳しく聴きたかった内容・参考になった事項:初勤対応のボイント「か・き・く・け・こ」 ○感想 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だと感じよる被害があったとしてしなけれ深かた。・あ市でも水きによるの話は対応などので、単、実施計画的なものの整備が必要になる。ことや初動対応が出対応などすべて興味深か、汚れや混合物もよいと考えられる状況で、混乱を招いないた。・、ではよりな「かまなんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた、経験のない者には大変参考となりました。・災害時に、知動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。・災害時に、対助な「かま市計画の理解がまず第一だと感じた				
を知りたかった。 ・廃棄物関係の事務が初心者なので、全て詳しく聴きたいです。 ・災害廃棄物の出し方に関する広轄が重要であることが理解できた。風水害や地震という災害の種類や住民が選難所に来る場合、来ない場合を探ななかって、どのような広報(情報発信)が有効であったかの実例を知りたい。 ・現場での災害廃棄物処理や動き方と同時に、処理工場側の詳細な廃棄物受け入れに関する直のいて、と、災害時の量の処理処分について、災害時の量が、これまで災害時にあいが多く、焼却でいては燃えにくい物と記職するだい。 ・事業所から出たごみについて、、通常は、一廃と産廃に分けられますが、災害時においても同じように適用されるのか等、事業系のごみについて、災害時においても同じように適用されるのか等。 ・自治体で受け入れていたのかれていたの、事業系のごみについて、の内容を詳しく聞きたかった産廃の取扱い・家電リサイクルの取り扱いについて、より詳しくお聞きしたいと思いました。 ・事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めていくべきかの実施を生したときの対応について、より詳しくお聞きしたいと思いました。 ・事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めていくべきがより群しく聴きたかった内容・参考になった事項:初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 ○感想 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だと感じよる被害があった経験もあり、これからの時期は注意が必要になる。今回の話は担当としてしなければならないこと、事前に準備しておくことでゴミの話は担当なしてしなければならないこと、事前に準備しておくことでゴミ混乱を招かないた。汚れや混合物も多いと考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければならないと感じかが大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた、経験のない者には大変参考となりました。・災害時にか助対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じに				
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
・災害廃棄物の出し方に関する広報が重要であることが理解できた。風水害や地震という災害の種類や住民が避難所に来る場合、来ない場合など、災害の状況により可能な広報の手段が異なることが考えられるが、様々なケースでどのような広報(情報発信)が有効であったかの実例を知りたい。 ・現場での災害廃棄物処理や動き方と同時に、処理工場側の詳細な廃棄物受け入れに関する事項に焦点を当てた研修の畳は水分を多く含んでいるものが多く、焼却では燃えにくい物と認識するが、これまで災害畳はどうな処理が行われていたのか教えで頂きたい。・事業所から出たでしていては、適用されるのか等、事業系のごみについての内容を詳しく聞きたかったです。 ・自治体で受け入れる程度・産廃の取扱い・家電リサイクルの取り扱いについて、災害が発生したときの対応について、より詳しくお聞きしたいと思いました。 ・事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めていくべきか(優先順位)・講演1がより詳しく態きたかった内容・参考になった事項: 初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 ○感想 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だと感じました。 ・本市でも水害による被氏担当としてしなければならないと表情に担当とすべて興味深かった。 ・市民にどこまでゴミの分別に協かしてよらない、事前に準備しておくことや初動対応などすべて興味深かった。・市民にどこまでゴミの分別に協かしてよらな対応を考えていかなければならないと感じた。 ・災害時に大の変に表験のない者には大変参考となりました。・災害時に対切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた		<u> </u>		
害や地震という災害の種類や住民が避難所に来る場合、来ない場合など、災害の状況により可能な広報の手段が異なることが考えられるが、様々なケースでどのような広報(情報発信)が有効であったかの実例を知りたい。 ・現場での災害廃棄物処理や動き方と同時に、処理工場側の詳細な廃棄物受け入れに関する事項に焦点を当てた研修も聞いてみたい。・災害時の畳の処理処分について、と認識するが、これまで災害時よどのが多く、焼却では燃えにくい物と認識するが、これまで災害時よどのからな処理が行われていたのか教えて頂きたい。・事業所から出たごみについては、通常は、一廃と産廃に分けられますが、災害時におけておいての内容を詳しく聞きたかったです。 ・自治体で受け入れる程度・産廃の取扱い・家電リサイクルの取り扱いについて、より詳しくお聞きしたいと思いました。・事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めていくべきが、貸先順位)・講演1がより詳しく聴きたかった内容・参考になった事項:初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 ○感想 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だとなった事項:初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 ○感想 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だとなった事項:初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 ○感想 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だとなった事項:初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 ○感想 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だとなることではました。・本市でも水害による被害担当とすべて興味深かった。4 月に環境部配属ない場の必要性を感じた・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4 月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた				
災害の状況により可能な広報の手段が異なることが考えられるが、様々なケースでどのような広報(情報発信)が有効であったかの実例を知りたい。 ・現場での災害廃棄物処理や動き方と同時に、処理工場側の詳細な廃棄物受け入れに関する事項に焦点を当てた研修も聞いてみたい。・災害時の畳の処理処分について、災害時の畳は水分を多く含んでいるものが多く、焼却では燃えにくい物をえて頂きたい。・事業所から出たごみについては、通常は、一廃と産廃に分けられますが、災害時においても同じように適用されるのか等、事業系のごみについての内容を詳しく聞きたかったです。・自治体で受け入れの取り扱い・家電リサイクルの取り扱い・家電リサイクルの取り扱いについて、より詳しくお聞きしたいと思いました。・事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めていくべきか(優位)・講演1がより詳しく聴きたかった内容・参考になった事項: 初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 〇感想・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要がと感じませた。本市でよる被害があった経験もあり、これからの時期は注意が必要になる。今回話は担当としてして具味深かった。小要による被害が出当とすべて興味深かった。・市民にどこまで記れてもらうか、汚れや混合物も多いと考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければならないと感じた。・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた・災害対応の事別ないかきには大変参考となりました。・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた				
なケースでどのような広報(情報発信)が有効であったかの実例を知りたい。 ・現場での災害廃棄物処理や動き方と同時に、処理工場側の詳細な廃棄物受け入れに関する事項に焦点を当てた研修も聞いてみたい。 ・災害時の畳の処理処分について、災害時の畳は水分を多く含んでいるものが多く、焼却では燃えにくい物と認識するが、これまで災害畳はどのような処理が行われていたのか教えで頂きたい。 ・事業所から出たごみについては、通常は、一廃と産廃に分けられますが、災害時においても同じように適用されるのか等、事業系のごみについての内容を詳しく聞きたかったです。 ・自治体で受け入れる程度・産廃の取扱い・家電リサイクルの取り扱いについて ・災害が発生したときの対応について、より詳しくお聞きしたいと思いました。 ・事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めていくべきか(優先順位)・講演1なった事項:初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 〇感想 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だと感じました。 ・本市でも水害による被害があった経験もあり、これからの時期は注意が必要になる。今回の話は担当としてしなければならないこと、事前に準備しておくことや初動対応などすべて興味深かった。 ・市民にどこまでご言の分別に協力してもらうか、汚れや混合物も多いと考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければならないと感じた。 ・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた・災害時、初かすくけに」はわかりやすかった。4月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた				
たい。 ・現場での災害廃棄物処理や動き方と同時に、処理工場側の詳細な廃棄物受け入れに関する事項に焦点を当てた研修も聞い分を多く含んでいるものが多く、焼却では燃えにくい物と認識するが、これまで災害貴はどのような処理が行われていたのか教えて頂きたい。 ・事業所から出たごみについては、通常は、一廃と産廃に分けられますが、災害時においても同じように適用されるのか等、事業系のごみについての内容を詳しく聞きたかったです。 ・自治体で受け入れる程度・産廃の取扱い・家電リサイクルの取り扱いについて ・災害が発生したときの対応について、より詳しくお聞きしたいと思いました。 ・事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めていくべきか(優先順位)・講演1がより詳しく聴きたかった内容・参考になった事項: 初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 〇感想 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だと感じました。 ・本市でも水害による被害があった経験もあり、これからの時期は注意が必要になる。今回の話は担当としてしなければならないこと、事前に準備しておくことや初動対応などすべて興味深かった。 ・市民にどこまでゴミの分別に協力してもらうか、汚れや混合物も多いと考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければならないと感じた。 ・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた				
・現場での災害廃棄物処理や動き方と同時に、処理工場側の詳細な廃棄物受け入れに関する事項に焦点を当てた研修も聞いてみたい。 ・災害時の畳の処理処分について、災害時の畳は水分を多く含んでいるものが多く、焼却では燃えにくい物を認識頂きたい。 ・事業所から出たごみについては、通常は、一廃と産廃に分けられますが、災害時においても同じように適用されるのか等、事業系のごみについての内容を詳しく和の取り接いについて・災害が発生したときの対応について、より詳しくお聞きしたいと思いました。 ・事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めていくべきか(優先順位)・講演1がより詳しく聴きたかった内容・参考になった事項:初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 〇感想 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だと感じました。 ・本市でも水害による被害があった経験もあり、これからの時期は注意が必要になる。ことや初動対応などすべて興味深かった。 ・市民にどこまでごの分別に協力してよりなければならないと感じた。・、災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた				
受け入れに関する事項に焦点を当てた研修も聞いてみたい。 ・災害時の畳の処理処分について、災害時の畳は水分を多く含んでいるものが多く、焼却では燃えにくい物と認識するが、これまで災害畳はどのような処理が行われていたのか教えて頂きたい。 ・事業所から出たごみについては、通常は、一廃と産廃に分けられますが、災害時においても同じように適用されるのか等、事業系のごみについての内容を詳しく間きたかったです。 ・自治体で受け入れる程度・産廃の取扱い・家電リサイクルの取り扱いについて、より詳しくお聞きしたいと思いました。 ・事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めていくべきか(優先順位)・講演1がより詳しく聴きたかった内容・参考になった事項:初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 〇感想 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だと感じました。・本市でも水害による被害があった経験もあり、これからの時期は注意が必要になる。今回の話は担当としてて興味深かった。・市民にどこまでゴミの分別に協力しようなかた。・市民にどこまでゴミの分別に協力しような対応を考えていかなければならないと感じた。・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた				
・災害時の畳の処理処分について、災害時の畳は水分を多く含んでいるものが多く、焼却では燃えにくい物と認識するが、これまで災害畳はどのような処理が行われていたのか教えて頂きたい。 ・事業所から出たごみについては、通常は、一廃と産廃に分けられますが、災害時においても同じように適用されるのか等、事業系のごみについての内容を詳しく聞きたかったです。 ・自治体で受け入れる程度・産廃の取扱い・家電リサイクルの取り扱いについて、より詳しくお聞きしたいと思いました。 ・事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めていくべきか(優先順位)・講演1がより詳しく聴きたかった内容・参考になった事項: 初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 ○感想 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だと感じました。 ・本市でも水害による被害があった経験もあり、これからの時期は注意が必要になる。今回の話は担当としてしな明味深かった。 ・市民にどこまでゴミの分別に協力してもらうか、汚れや混合物も多いと考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければならないと感じた。 ・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の多要性を感じた。 ・災害時に初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。 ・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた				
のが多く、焼却では燃えにくい物と認識するが、これまで災害畳はどのような処理が行われていたのか教えて頂きたい。 ・事業所から出たごみについては、通常は、一廃と産廃に分けられますが、災害時においても同じように適用されるのか等、事業系のごみについての内容を詳しく聞きたかったでで、自治体で受け入れる程度・産廃の取扱い・家電リサイクルの取り扱いについて、より詳しくお聞きしたいと思いました。 ・事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めていくべきか(優先順位)・講演1がより詳しく聴きたかった内容・参考になった事項: 初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 ○感想 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だと感じました。 ・本市でもなる。今回の話は担当としてしなければならないこと、事前に準備しておくことや初動対応などすべて興味深かった。・市民にどこまでゴミの分別に協力してもらうか、汚れや混合物も多いと考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければならないと感じた。 ・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた ・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた				
ような処理が行われていたのか教えて頂きたい。 ・事業所から出たごみについては、通常は、一廃と産廃に分けられますが、災害時においても同じように適用されるのか等、事業系のごみについての内容を詳しく聞きたかったです。 ・自治体で受け入れる程度・産廃の取扱い・家電リサイクルの取り扱いについて、より詳しくお聞きしたいと思いました。 ・事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めていくべきか(優先順位)・講演1がより詳しく聴きたかった内容・参考になった事項:初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 〇感想・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だと感じました。・本市でも水害によるなとであるった経験もあり、これからの時期は注意が必要になる。今回の話は担当としてしればならないこと、事前に準備しておくことや初動対応などすべて興味深かった。・市民にどこまでゴミの分別に協力してもらうないたようながはならないと感じた。・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた				
・事業所から出たごみについては、通常は、一廃と産廃に分けられますが、災害時においても同じように適用されるのか等、事業系のごみについての内容を詳しく聞きたかったです。 ・自治体で受け入れる程度・産廃の取扱い・家電リサイクルの取り扱いについて、より詳しくお聞きしたいと思いました。 ・事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めていくべきか(優先順位)・講演1がより詳しく聴きたかった内容・参考になった事項:初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 〇感想 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だと感じました。 ・本市でも水害による被害があった経験もあり、これからの時期は注意が必要になる。今回の話は担当としてしなければならないこと、事前に準備しておくことや初動対応などすべて興味深かった。・市民にどこまでゴミの分別に協力してもらうか、汚れや混合物も多いと考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければならないと感じた。 ・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた				
災害時においても同じように適用されるのか等、事業系のごみについての内容を詳しく聞きたかったです。 ・自治体で受け入れる程度・産廃の取扱い・家電リサイクルの取り扱いについて、より詳しくお聞きしたいと思いました。 ・事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めていくべきか(優先順位)・講演1がより詳しく聴きたかった内容・参考になった事項:初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 ○感想 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だと感じました。・本市でも水害による被害があった経験もあり、これからの時期は注意が必要になる。今回の話は担当としてしなければならないこと、事前に準備しておくことや初動対応などすべて興味深かった。・市民にどこまでゴミの分別に協力してもらうか、汚れや混合物も多いと考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければならないと感じた。・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた				
の内容を詳しく聞きたかったです。 ・自治体で受け入れる程度・産廃の取扱い ・家電リサイクルの取り扱いについて ・災害が発生したときの対応について、より詳しくお聞きしたいと思いました。 ・事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めていくべきか(優先順位) ・講演1がより詳しく聴きたかった内容 ・参考になった事項:初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 〇感想 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だと感じました。 ・本市でも水害による被害があった経験もあり、これからの時期は注意が必要になる。今回の話は担当としてしなければならないこと、事前に準備しておくことや初動対応などすべて興味深かった。 ・市民にどこまでゴミの分別に協力してもらうか、汚れや混合物も多いと考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければならないと感じた。 ・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた				
・自治体で受け入れる程度・産廃の取扱い ・家電リサイクルの取り扱いについて ・災害が発生したときの対応について、より詳しくお聞きしたいと思いました。 ・事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めていくべきか(優先順位) ・講演1がより詳しく聴きたかった内容 ・参考になった事項:初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 〇感想 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だと感じました。 ・本市でも水害による被害があった経験もあり、これからの時期は注意が必要になる。今回の話は担当としてしなければならないこと、事前に準備しておくことや初動対応などすべて興味深かった。 ・市民にどこまでゴミの分別に協力してもらうか、汚れや混合物も多いと考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければならないと感じた。 ・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた ・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた				
・家電リサイクルの取り扱いについて ・災害が発生したときの対応について、より詳しくお聞きしたいと思いました。 ・事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めていくべきか(優先順位) ・講演1がより詳しく聴きたかった内容 ・参考になった事項:初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 〇感想 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だと感じました。 ・本市でも水害になる。今回の話は担当としてしなければならないこと、事前に準備しておくことや初動対応などすべて興味深かった。 ・市民にどこまでゴミの分別に協力してもらうか、汚れや混合物も多いと考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければならないと感じた。 ・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた				
・災害が発生したときの対応について、より詳しくお聞きしたいと思いました。 ・事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めていくべきか(優先順位) ・講演1がより詳しく聴きたかった内容 ・参考になった事項:初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 〇感想 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だと感じました。 ・本市でも水害による被害があった経験もあり、これからの時期は注意が必要になる。今回の話は担当としてしなければならないこと、事前に準備しておくことや初動対応などすべて興味深かった。 ・市民にどこまでゴミの分別に協力してもらうか、汚れや混合物も多いと考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければならないと感じた。 ・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた ・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた				
した。 ・事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めていくべきか(優先順位) ・講演1がより詳しく聴きたかった内容 ・参考になった事項:初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 〇感想 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だと感じました。 ・本市でも水害による被害があった経験もあり、これからの時期は注意が必要になる。今回の話は担当としてしなければならないこと、事前に準備しておくことや初動対応などすべて興味深かった。 ・市民にどこまでゴミの分別に協力してもらうか、汚れや混合物も多いと考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければならないと感じた。 ・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた ・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた				
・事前準備(計画策定、仮置場の設定等)が遅れている場合に何から進めていくべきか(優先順位) ・講演 1 がより詳しく聴きたかった内容 ・参考になった事項:初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 〇感想 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だと感じました。 ・本市でも水害による被害があった経験もあり、これからの時期は注意が必要になる。今回の話は担当としてしなければならないこと、事前に準備しておくことや初動対応などすべて興味深かった。 ・市民にどこまでゴミの分別に協力してもらうか、汚れや混合物も多いと考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければならないと感じた。 ・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた ・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた				
ていくべきか(優先順位) ・講演 1 がより詳しく聴きたかった内容 ・参考になった事項:初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 〇感想 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だと感じました。 ・本市でも水害による被害があった経験もあり、これからの時期は注意が必要になる。今回の話は担当としてしなければならないこと、事前に準備しておくことや初動対応などすべて興味深かった。 ・市民にどこまでゴミの分別に協力してもらうか、汚れや混合物も多いと考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければならないと感じた。 ・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた ・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた				
・講演 1 がより詳しく聴きたかった内容 ・参考になった事項:初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 ○感想 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だと感じました。 ・本市でも水害による被害があった経験もあり、これからの時期は注意が必要になる。今回の話は担当としてしなければならないこと、事前に準備しておくことや初動対応などすべて興味深かった。 ・市民にどこまでゴミの分別に協力してもらうか、汚れや混合物も多いと考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければならないと感じた。 ・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた ・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた				
・参考になった事項:初動対応のポイント「か・き・く・け・こ」 ○感想 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だと感じました。 ・本市でも水害による被害があった経験もあり、これからの時期は注意が必要になる。今回の話は担当としてしなければならないこと、事前に準備しておくことや初動対応などすべて興味深かった。 ・市民にどこまでゴミの分別に協力してもらうか、汚れや混合物も多いと考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければならないと感じた。 ・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた ・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた				
 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だと感じました。 ・本市でも水害による被害があった経験もあり、これからの時期は注意が必要になる。今回の話は担当としてしなければならないこと、事前に準備しておくことや初動対応などすべて興味深かった。 ・市民にどこまでゴミの分別に協力してもらうか、汚れや混合物も多いと考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければならないと感じた。 ・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた ・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。 ・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた 				
 ・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整備が必要だと感じました。 ・本市でも水害による被害があった経験もあり、これからの時期は注意が必要になる。今回の話は担当としてしなければならないこと、事前に準備しておくことや初動対応などすべて興味深かった。 ・市民にどこまでゴミの分別に協力してもらうか、汚れや混合物も多いと考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければならないと感じた。 ・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた ・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。 ・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた 				
備が必要だと感じました。 ・本市でも水害による被害があった経験もあり、これからの時期は注意が必要になる。今回の話は担当としてしなければならないこと、事前に準備しておくことや初動対応などすべて興味深かった。 ・市民にどこまでゴミの分別に協力してもらうか、汚れや混合物も多いと考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければならないと感じた。 ・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた ・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。 ・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4 月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた		○感想		
 ・本市でも水害による被害があった経験もあり、これからの時期は注意が必要になる。今回の話は担当としてしなければならないこと、事前に準備しておくことや初動対応などすべて興味深かった。 ・市民にどこまでゴミの分別に協力してもらうか、汚れや混合物も多いと考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければならないと感じた。 ・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた ・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。 ・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた 		・災害廃棄物の処理については、普段からの準備、実施計画的なものの整		
必要になる。今回の話は担当としてしなければならないこと、事前に準備しておくことや初動対応などすべて興味深かった。 ・市民にどこまでゴミの分別に協力してもらうか、汚れや混合物も多いと考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければならないと感じた。 ・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた ・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。 ・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた		備が必要だと感じました。		
備しておくことや初動対応などすべて興味深かった。 ・市民にどこまでゴミの分別に協力してもらうか、汚れや混合物も多いと考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければならないと感じた。 ・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた ・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。 ・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4 月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた		・本市でも水害による被害があった経験もあり、これからの時期は注意が		
 ・市民にどこまでゴミの分別に協力してもらうか、汚れや混合物も多いと考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければならないと感じた。 ・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた ・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。 ・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた 		必要になる。今回の話は担当としてしなければならないこと、事前に準		
考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければならないと感じた。 ・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた ・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。 ・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4 月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた		備しておくことや初動対応などすべて興味深かった。		
らないと感じた。 ・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた ・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。 ・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4 月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた		・市民にどこまでゴミの分別に協力してもらうか、汚れや混合物も多いと		
・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確認・把握の必要性を感じた ・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。 ・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4 月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた		考えられる状況で、混乱を招かないような対応を考えていかなければな		
認・把握の必要性を感じた ・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。 ・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4月に環境部配属な ったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた				
・災害対応の事例紹介は、経験のない者には大変参考となりました。 ・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた		・災害時、初動対応が大事なんで、初動対応の手引き(環境省)の内容確		
・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4 月に環境部配属なったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた				
ったばかりであり、本市計画の理解がまず第一だと感じた				
		・災害時に大切な「かきくけこ」はわかりやすかった。4月に環境部配属な		
・昨年度協定を締結、これから協議を行っていくうえで、私自身経験が浅				
		・昨年度協定を締結、これから協議を行っていくうえで、私自身経験が浅		

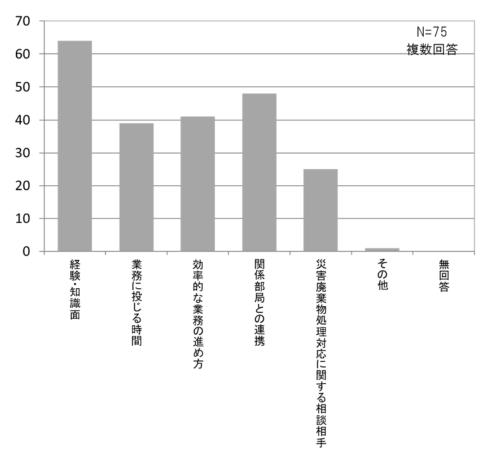
項目	興味持った事項、参考になった事項、必要と感じる事項
	いことから、災害廃棄物処理の概要など基本的な内容からご説明いただき、わかりやすく学ぶことができました。 ・初動対応を迅速に行うことが、廃棄物の処理速度に大きく関わってくると、改めて実感できた。災害を経験している職員が少ないので、訓練などを通して対応策を練る必要があると感じた。 ・近畿ブロック協議会の取り組みについては、とても参考になりました。一部事務組合では、出来ることが限られていますが、各市町村と協力できるところは、検討したいです。 ・災害はいつ起こるか分からないので、平常時にいかに備えをしておくかが重要だということを認識することができた。
仮置場	 ○要望 ・仮置き場の設置検討をしていく上で、どういったことから始めるのが良いかなどの具体例などをまたの機会に紹介頂きたいです。 ・他市の災害廃棄物仮置き場の設定方法、市民への周知方法など好事例があればご紹介いただきたい。 ○感想 ・メインの仮置場となる場所の運営以外に、各地域内での公園等による町会・自治会単位での小規模な仮置き場の設置、運営、事後処理などについて、実際の災害時に、公的な運営人員の確保、町会単位で本当に運営管理できるのかが不安な面が大きいと感じました。
補助金制度	○要望 ・補助金の内容をもう少し聞きたかった。 ・災害廃棄物補助金について具体的な事例を交え、詳しくお聞きしたい。 ○感想 ・補助金制度について参考になった ・講演3の補助金に関することは、非常に参考になった。写真はたくさん撮って記録しないといけないものであるという漠然としたイメージはあったが、どのような写真を撮ったらいいか具体的なことはあまり考えていなかった。発災時に撮る写真についてマニュアルの作成を検討したい、と今回のお話で感じた。 ・災害等報告書に添付する資料について、特に写真は重要な資料となることが認識でき参考になりました。また、災害等廃棄物処理事業費補助金に係る補助対象経費についても非常に参考となりました。 ・記録写真を必要以上に多めに撮ることの重要性がわかった。 ・より詳しく聴きたかった内容:災害査定の過去の事例(どのような手順で進行したか等)
その他	・実際の事例等をもっと聴きたかったです ・被災自治体であった実際の事例をもっと聞いてみたかったです。 ・住民啓発モデルの良い事例を詳しく知りたかった ・より詳しく聴きたい事項:実効性確保モデル事業 ・発災した場合の住民への効果的のための事例(良い事例・悪い事例) ・特に興味を持った事項:他府県のモデル事業

⑤災害廃棄物処理対応を行ううえで不安に感じる点

「経験・知識面」に対する不安が85%ともっとも高く、次いで「関係部局との連携」が64%、「効率的な業務の進め方」「業務に投じる時間」も半数以上が不安に感じている。

図表 7-9 災害廃棄物処理の対応経験(複数回答、N=75)

項目	回答数	回答率
経験・知識面	64	85%
業務に投じる時間	39	52%
効率的な業務の進め方	41	55%
関係部局との連携	48	64%
災害廃棄物処理対応に	25	33%
関する相談相手		
その他	1	1%
無回答	0	0%

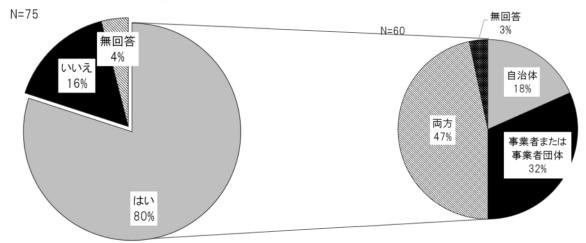


⑥所属機関(団体)の災害廃棄物処理に関する協定締結状況及び締結先

災害廃棄物処理に関する協定を「締結していない」と回答した団体が16%あった。 災害廃棄物処理に関する協定を締結している団体は80%であった。締結先は、「自治 体、事業者の両方」が一番多く47%であった。「事業者または事業者団体と締結」の回 答は32%であった。

図表 7-10 災害廃棄物処理に関する協定締結状況及び締結先

	項目	回答数	回答率
はし	`	60	80%
13.0			(100%)
	自治体	(11)	(18%)
	事業者または事業者団体	(19)	(32%)
	両方	(28)	(47%)
	無回答	(2)	(3%)
いし	ヽえ	12	16%
無回	回答	3	4%
	合計	75	100%

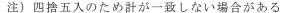


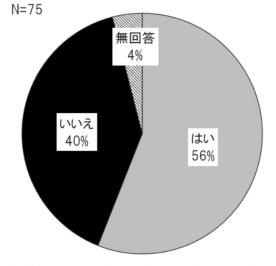
⑦災害時の対応準備状況

災害時の対応、「はい(災害時にすぐ動ける準備がある)」の回答が56%であり、「いいえ」の回答は40%であった。

項目	回答数	回答率
はい	42	56%
いいえ	30	40%
無回答	3	4%
合計	75	100%

図表 7-11 災害時の対応準備状況





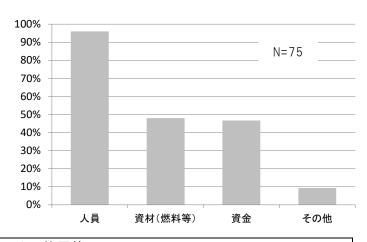
⑧災害時の人員、資材等の不足(複数回答可)

災害時不足が予想される物資等は、「人員」の回答が96%と最も高く、ほとんどの団体がこの項目を回答した。次いで「資材(燃料等)」が48%、資金が47%であった。

その他の回答は、「機材、バキュームカー」、「知識 (どう動けばいいか)」、「運搬車両等、情報 (連絡や共有)」、「経験」、「職員の心の余裕」「どの程度の規模によりますが、人も資金も不足」「仮置場」などの回答があった。

図表 7-12 災害時の人員、資材等の不足(複数回答、N=75)

項目	回答数	構成比
人員	72	96%
資材 (燃料等)	36	48%
資金	35	47%
その他	7	9%



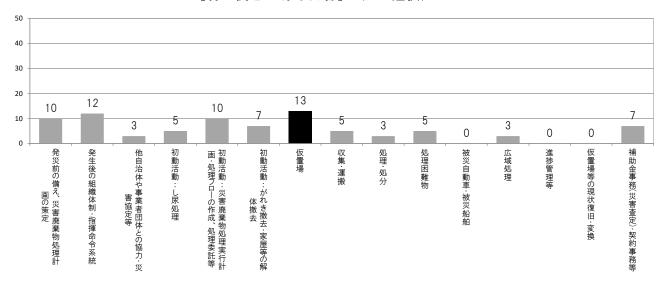
その他回答

- ・機材、バキュームカー
- 知識(どう動けばいいか)
- 運搬車両等、情報(連絡や共有)
- 経験
- ・職員の心の余裕
- ・どの程度の規模によりますが、人も資金も不足する
- 仮置場

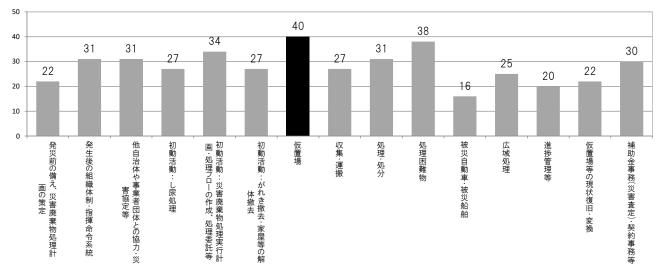
⑨災害廃棄物処理に関して関心のある内容

災害廃棄物処理に関し、特に関心のある内容は「仮置場」であった。その他関心のある項目としては、「処理困難物」、「初動活動:災害廃棄物処理実行計画・処理フローの 作成、処理委託等」の回答数が多かった。

図表 7-13 災害廃棄物処理に関して関心のある内容 [特に関心のある内容] (1 つ選択)



[関心のある内容] (複数回答)



⑩今後のセミナーテーマ、感想など

災害廃棄物処理における収集・運搬、し尿処理、仮置場、補助金、災害廃棄物実行計 画、協定、ボランティア等に関する意見があった。

図表 7-14 具体的に詳しく聞きたい事項、本日の感想等

項目	自由意見
詳しく聞きた	
い事項	・広域処理の実例を知りたい(仮置場からどうやってどこに行くのか?)
	〇し尿処理 ・下水道へのし尿直接投入について聴きたい。 ・災害時、し尿の広域処理を行う際に、市町村間で委託契約書を締結することになると思うが、その過去の事例があれば教えてほしいです。また、県・市町村間でし尿の広域処理に関する相互支援協定のようなものを締結した過去の事例があれば、そちらも併せて教えてほしいです。
	〇仮置場 ・仮置場の用地選定について、どのように選定するのが望ましいか、他市の 事例を含めて知りたい ・仮置場の管理・運営について
	・仮置き場の理想的な配置(1箇所あたり何世帯など)、面積。用地選定、 近隣住民・事業者との調整など。
	・仮置場が不足している場合に、民有地を使用する場合の注意事項(選定、 契約、補償など)(※公有地が不足する場合に、業界団体との協定に基づ き民有地を借り上げる場合を想定した場合) ・仮置き場の選定について
	・仮置き場が不足した際は、国などの機関で場所を確保していただけるのか ・仮置場の数が足りない場合の対処方法・事例について知りたい。
	〇補助金 ・災害査定については、どういった証拠資料(写真等)が必要となるか等、 一度経験しているかどうかで大きな差が出るため、大規模な災害発生時に は経験者がいる(または派遣してもらう)と進捗や出来に大きく影響する と思う。そのため、そういった内容がより具体的にイメージできる内容を 聞きたい。
	〇災害廃棄物処理実行計画 ・実際に災害が発生し、災害廃棄物処理実施計画を策定するまでの時間と、 その内容と改善点など、今までの事例と実施計画の内容など、情報共有し てもらいたい。
	〇協定 ・民間事業者との協定内容についてもっと詳しく知りたい。仮置場の数が足 りない場合の対処方法・事例について知りたい。
	〇ボランティア ・ボランティア活動の動向
	〇災害廃棄物処理の事例 ・実際の災害時に上手く廃棄物処理ができた事例等 ・実際に起こった事例に基づく、初期対応や平時から準備しておくこと(準

項目	自由意見
	備しておいて良かったこと・計画があったにも関わらず機能しなかったこと等、一般的には平時には気付きにくいが準備しておいた方がよいこと
	こず、一般的には十時にはX(りさにくいが卒間しておいた力がよいこと
	・発災後の不法投棄対策として、どのような対策がとられていたか、災害の
	種類別に実際の事例を聞きたい。
その他感想・ 要望等	・日頃から災害について、備えることの重要性を再認識することができた。 ・有意義な説明会でした。ありがとうございました。
安主守	
	・引き続き、災害対応に関する情報提供をお願いしたいと思います。
	・異動したばかりのタイミングで研修を受けることができて、大変ありがた かったです。
	・災害廃棄物の対応について、初動の対応から財政面での補助まで、幅広く
	知ることができ、また注意すべきポイントも教えていただき、大変勉強に
	なりました。ありがとうございました。
	・災害廃棄物処理の様々な問題点や補助金の内容について、知ることができ
	てよかった。実務経験者の経験談が大切だなと感じました。
	│・今回のような場で、他自治体の担当者と関係が築ければ助かるので、その │ ような手助けもいただきたい。懇親会等。
	・担当者も変わることが多く、誰もが研修し、また、一度、聴講した場合で
	│ も、繰り返して聴講し、被災した際に備えることが大事と感じている。基 │ 礎的な内容でも構わないので、継続して実施して欲しいと思います。
	│・研修時間について、全体の時間を増やしてもよいので、質問時間を充実さ │ せたほうがよい。
	・オンライン参加者のアンケートはできれば Zoom の機能を使用したものだ
	と回答しやすくて助かります。

(2) アンケート結果 (中小規模市町村を対象とした研修)

①参加者の所属

アンケート回答者は廃棄物関係部署の自治体職員が94%、危機管理関係部署の自治体職員が2%、その他部署の自治体職員が4%であった。

図表 7-15 参加者の所属

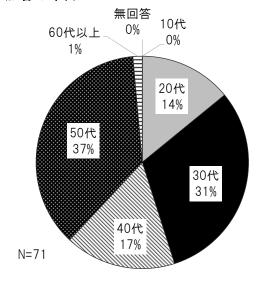
所属	回答数	回答率
自治体職員 (廃棄物関係部署)	67	94%
自治体職員 (危機管理関係部署)	1	2%
自治体職員 (その他部署)	3	4%
自治体職員以外	0	0%
無回答	0	0%
合計	71	100%

②参加者の年代

アンケート回答者の年齢は、50 代が 37%、次いで 30 代が 31%、40 代が 17%であった。

図表 7-16 参加者の年代

参加者の年齢	回答数	回答率
10 代	0	0%
20 代	10	14%
30 代	22	31%
40 代	12	17%
50 代	26	37%
60 代以上	1	1%
無回答	0	0%
合計	71	100%

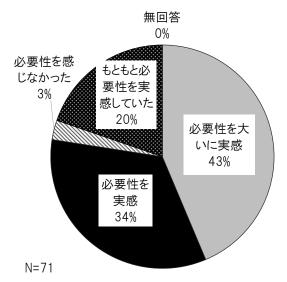


③災害廃棄物処理対策の事前の備えの必要性意識の変化

セミナー参加前後の意識の変化は、セミナーを受講し必要性を「大いに実感」、「実感」 した回答が77%であり、セミナーを通じて災害廃棄物処理対策の事前の備えに対する意 識の向上につながったと考えられる。

図表 7-17 事前の備えの必要性意識の変化

項目	回答数	回答率
必要性を大いに実感	31	43%
必要性を実感	24	34%
必要性を感じなかった	2	3%
もともと必要性を	14	20%
実感していた		
無回答	0	0%
合計	71	100%



図表 7-18 興味を持った事項等

				意見の	り分類		
No	意見・感想	事前準備	事前計画	他部署との連携	協定締結	発災後の対応	補助金
1	携帯トイレの廃棄物については、収集車での事故防止のため収集運搬業			•			
2	者との情報共有が必要と感じた。 部局横断での連携が必要なのは当然だと思っていましたが、発災後のインフラが麻痺している中、どのようにして連携するための連絡手段を確保するか、ということの想定が足りているか考えさせられました。仮設トイレの発注でのお話でしたが、それ以外の面でも必要な視点だと感じました。			•			
3	計画外の仮設トイレへの対応や、携帯トイレの可燃ごみとしての収集方法など、実際に作業にあたらないと分からない部分も多いが、いずれも事前に取り決めておかなければ、迅速な対応が出来ない事案ばかりであると感じました。		•				
4	仮設トイレの問題点、誰がトイレの清掃をすべきか、トイレ関係の備蓄 が不足する可能性など					•	
5	仮説トイレの協定の重要性				•		
6	市民へのトイレの事前の準備等の周知が必要だと思いました。	•					
7	国補助金に関する内容						
8	し尿処理について、実例をもとに具体的な考え方や問題点をわかりやす く知ることができました。					•	
9	避難所でのトイレの維持管理の問題など、トイレや廃棄物について災害が発生する前から計画を立てておくことの重要性に気づかされました。		•				
10	講演1の岡山教授から説明のあった「ゲリラ簡易トイレ」の存在を初めて知った。参考になった。					•	

				意見の)分類		
No	意見・感想	事前準備	事前計画	他部署との連携	協定締結	発災後の対応	補助金
11	・プッシュ型支援のゲリラ仮設トイレ設置への対応 ・災害時のし尿汲み取り体制の構築			•		•	
12	たとえ協定を結んでいても仮設トイレの確保は、周辺の市町村の状況もあるので、急いで動かないといけないこと。また普段より、どこの避難所のどの場所にどれだけ仮設トイレを配置するなどを、危機管理部門と調整し、あらかじめ検討しておかないといざというときに動けないと感じた。			•		•	
13	災害時トイレのごみのフローについて 災害対応におけるトイレ設置については、特にスピード感が必要である					•	
	こと。実際の現場での実態も聞くことができて大変参考になった。					•	
15	浦安市の事例					•	
16 17	事前の準備(庁内、住民) 仮設トイレ(携帯トイレ含む)の事前準備の重要性を実感した。						
18	トイレの設置・管理とし尿の処理に係る平時の連携。トイレの調達について、どこの部署が主担当になるか明確になっていないことからも、なかなか連携が進んでいない。			•			
19	ゲリラ仮設トイレの発生については想定していなかったため、想定して おく必要を感じた。					•	
20	携帯トイレの重要性	•					
21	仮設トイレの台数、人口に対する仮設トイレの数の積算		•			_	
22	仮設トイレの問題 体験談に基づく他自治体の事例紹介は現実味が湧いてわかりやすいで					•	
23	体験談に基づく他自治体の事例稲がは現実味が湧いてわかりですいてす。					•	
24	民間企業との協定締結				•		
25	災害発生時に滞りなく対応するためには、事前の調整が大切であること。		•				
26	事前準備と初動の迅速さ。変化に対する柔軟性。	•				•	
27	災害時のし尿処理のことについて。					•	
	し尿処理対応の緊急性を痛感しました。					•	
30	避難所の収容人数とトイレの配置数をどうするのかという部分 発災前(平常時)の関係部署との情報共有や想定される事態の想定をよ		•				
30	り具体的に行う時間をもつことが必要だと感じました。 災害関係の国の補助金の査定が厳しいことは、経験者に聞いていました が、どのように事務を進めれば円滑に審査されるのかそのポイントをも		•	•			
31	<u>っと具体的にお聞きしたいと思いました。</u> マンパワーが不足・限界がある中での避難運営					•	
32	実際に災害廃棄物処理の業務に携わった方の準備や申請で苦労した体験の話が参考になりました。					•	
33	仮設トイレが必要ならいち早く連絡(準備) 避難所の避難人自ら動ける人は動くこと(行政任せにしない) 廃棄物担当部署の職員は、避難所担当から外してもらうこと					•	
34	実際に豪雨等被災し、災害時のし尿収集・処理の経験を聞けたことは、参考になった。					•	
35 36	仮設トイレの設置について事例をお伺いでき、課題として認識できた。 携帯トイレの平時からの必要数の推計		•			•	
37	災害時のし尿処理の現状を聞けて良かったです。					•	
38	仮設トイレの迅速な設置の重要性 発災後の仮設トイレの手配がいかに重要かということ					•	
40	- 親のトイレの混み具合が想像以上だった					-	_
	・国の補助割合について知れた				_	•	
41	実際に災害対応された自治体の話を伺えて、いかにスピード感のある対応が必要か、どれだけ臨機応変な対応出来るか 想定出来ないことがた					•	
42	くさんあり いろいろ考えさせられました。 災害時におけるトイレ対策は、仮設トイレだけで補うことが困難であ	•		•			

				意見0	の分類		
No	意見・感想	事前準備	事前計画	他部署との連携	協定締結	発災後の対応	補助金
	り、各住民自ら簡易トイレを備蓄しておくことと、流せない凝固し尿の 収集運搬体制の構築が必要であると参考になりました。						
43	災害時の対応について、事前の想定や計画が必要であることがわかった。また、発災後の対応についても被災された方のご苦労が十分伝わりました。廃棄物対応の部署であっても課ごとに業務が分かれていたり、危機管理の部署との連携ができているわけではないため、その点が行政の課題になるかと感じています。		•	•			
44	携帯トイレの重要性 災害廃棄物基本計画を作成することで、仮設トイレの設置基数をある程	•					
	度想定することで災害が起きた際に早い対応ができると感じました。		•				
46	仮設トイレの確保、避難所においての仮設トイレの管理を避難者に行ってもらう事が今後の運営に大きな意味を持つことを知ることができた。					•	
47	し尿に係る災害対応について大変勉強になりました。災害時のトイレ対 応が非常に重要であることを再確認しました。					•	
48	大洲市の事例で下水処理施設への投入ができた事					•	
49	災害廃棄物処理に関する協定について改めて重要性を感じました。又、 避難所仮設トイレとし尿の汲み取りをセットとして考えなければなら ないことがよく理解できました。				•		
50	浄化槽の冠水後の対応、隠れ仮設トイレの設置の把握、仮設トイレ設置 必要数と使用実態					•	
51	仮設トイレについては、設置からし尿収集まで廃棄物部局が一貫して対 応すべきであるということ。					•	
52	災害時、ライフラインである電気、水の復旧・確保が最も重要であること。 避難所の運営では、避難者の自助協力次第により衛生面が左右されること。					•	
53	講演2の「し尿汲取りに関する業者との協議」について、同じ収集業務を管理している立場として参考になった。また、災害対応に係る事業費の財源内訳の説明について、実際に被災した際の当該自治体負担分をイメージする上で非常に参考になった。					•	•
54	固形化させたし尿を可燃ごみとして出す場合の梱包について、事前に周 知しておく必要があると感じた。	•					
55	・災害発生後、トイレが必要となる時間や必要な仮設トイレの基数 ・仮設トイレの必要基数の算定ができていないと、余剰分がかえって災 害ゴミとなってしまうこと ・庁内他部署やし尿処理施設、収集運搬業者との事前協議や連絡体制の 構築の必要性		•	•			
56	・トイレは、食事や飲み物よりも重要である。(TKB) ・仮設トイレの設備の問題や、利用上の問題。	•				•	
57	携帯トイレ備蓄について、市民、事業者への啓発	•					
58	・仮設トイレの運営は、女性がインシアチブを取ることがポイント ・仮設トイレにおける性犯罪の多発 ・携帯トイレの収集における注意事項					•	
59	避難所運営のあり方及び仮設トイレの問題点が参考になった					•	
60	大規模災害発生時、食糧よりトイレ関係の方が先に必要となるという説明に納得した。 仮設トイレが難しくても、携帯トイレ等の別の対策を考える必要性を感じた。 併せて携帯トイレ使用を促す場合、収集運搬業者との協議の必要性も感じた。	•		•			
61	・経験したことのない「停電」と「断水」時の対応。 ・関連事業者との連携のみならず、平常時からの情報共有の必要性			•		•	

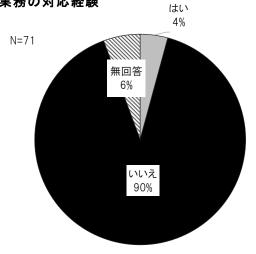
④し尿処理業務の対応経験

し尿処理業務の対応経験は、経験なしが90%、経験ありが4%の回答であった。

図表 7-19 し尿処理業務の対応経験

項目	回答数	回答率
はい	3	4%
いいえ	64	90%
無回答	4	6%
合計	71	100%

注) 四捨五入のため計が一致しない場合がある

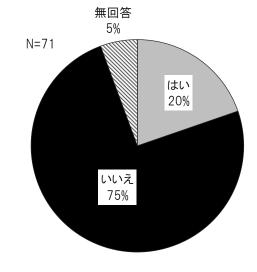


⑤災害廃棄物処理の対応経験

災害廃棄物処理の対応経験は、経験なしが75%、経験ありが20%の回答であった。

図表 7-20 災害廃棄物処理の対応経験

項目	回答数	回答率
はい	14	20%
いいえ	53	75%
無回答	4	5%
合計	71	100%

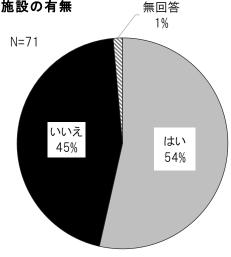


⑥し尿処理施設の有無

し尿処理施設を有している機関(団体)に所属している回答者は54%であった。

	図表	長 7−21 し	、尿処理施設の有無
項目	回答数	回答率	
はい	38	54%	N=71
いいえ	32	45%	
無回答	1	1%	
合計	71	100%	

注) 四捨五入のため計が一致しない場合がある



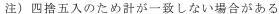
⑦所属機関(団体)のし尿処理に関する協定締結状況及び締結先

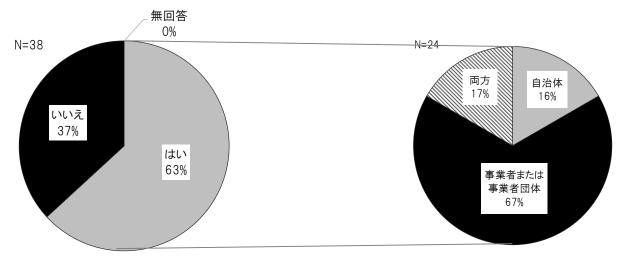
し尿処理に関する協定を「締結していない」と回答した団体は37%であった。

し尿処理に関する協定を締結している団体は 63%であった。締結先は、「事業者又は 事業者団体」が 67%であった。

回答数 回答率 項目 63% はい 24 (100%)(4) 自治体 (16%) 事業者または事業者団体 (67%) (16)(4) (17%) 両方 14 37% いいえ 無回答 0 0% 38 100% 合計

図表 7-22 し尿処理に関する協定締結状況及び締結先



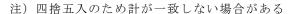


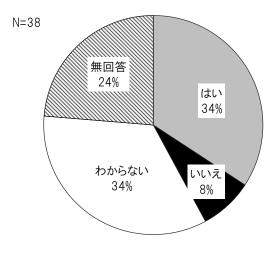
⑧災害時の協定発動状況

災害時の協定発動状況は、「はい(災害時にすぐ発動できる)」の回答が34%、「いいえ」の回答が8%、「わからない」の回答が34%であった。

項目 回答数 回答率 はい 13 34% いいえ 3 8% 13 34% わからない 無回答 9 24% 合計 38 100%

図表 7-23 災害時の協定発動状況





⑨し尿処理施設の業務継続計画(BCP)策定状況

し尿処理施設の業務継続計画(BCP)の策定状況は、「策定済み」が34%、「未策定で今後も策定予定はない」が16%であった。

図表 7-24 し尿処理施設の業務継続計画 (BCP) 策定状況

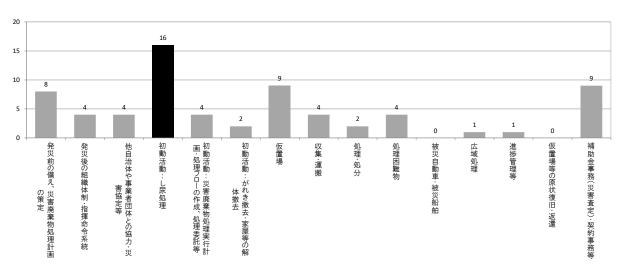
項目	回答数	回答率	無回答
策定済み	13	34%	N=38 3%
策定中	1	3%	
今後策定予定	2	5%	
未策定で今後も策定予定は	6	16%	
ない			策定済み
わからない	15	39%	わからない 34%
無回答	1	3%	39%
合計	38	100%	39/0
			策定中3%
	未统		5策定予定はない <u></u> 今後策定予定 6% 5%
		I	0/0

⑩災害廃棄物処理に関して関心のある内容

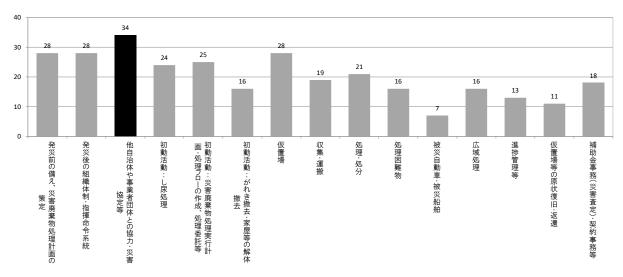
災害廃棄物処理に関し、特に関心のある内容は「し尿処理の初動活動」であり、次いで「仮置場」、「補助金事務(災害査定)・契約事務等」であった。

関心のある内容は、「他自治体や事業者団体との協力・災害協定等」の回答数が多かった。

図表 7-25 災害廃棄物処理に関して関心のある内容 [特に関心のある内容] (1 つ選択)



[関心のある内容] (複数回答)



①今後のセミナーテーマ、感想など

詳しく聞きたい事項は、今回の勉強会のテーマの「し尿処理・計画」以外に、「収集・処理」、「仮置場」、「補助金」、「協定」、「災害廃棄物処理の初動やタイムライン」などの意見があった。

図表 7-26 具体的に詳しく聞きたい事項、本日の感想等

項目	自由意見
詳しく聞きた	〇し尿処理・計画
い事項	・災害時における他自治体(大洲市以外の事例)のし尿処理の課題と対策
	・災害発生時のし尿収集運搬体制や指揮命令系統、留意点等について、特に
	収集運搬業務を外部委託している自治体を例にとって詳しく聞きたい。
	・下水道直接投入の事例及び事前に検討されている都道府県や市町村の事例
	について詳しく聞きたい。
	・本日はありがとうございました。本講演を聞き、災害時の初動対応につい
	て考えさせられるとてもいい機会となりました。次回このような講演があ
	りましたら、し尿処理施設の場所にもよるとは思いますが、水害、津波の
	浸水対策としてどのような取組ができるのかを個人的にお聞きしたいな
	と思いました。
	・トイレの調達について、どこの部署が主担当になるか明確になっていない
	ことからも、なかなか連携が進んでいない。
	・被災施設の復旧までの詳細事例(水没してしまった機器類の復旧方法)
	・携帯トイレの最大必要数については、環境省の資料等を参考に「[避難所
	の収容人数合計(人)(または断水想定地区の人数)×1人 1日あたり
	│ し尿排出量(ℓ)(平均:1.98ℓ)×1日あたり使用回数×避難所開設日数 │
	(または断水地区での使用日数)]÷1袋あたり平均的容量(ℓ)」とし
	ていますが、この方法以外に推計方法があれば教えてほしいです。
	・仮設トイレの問題。調達・設置・運用等。
	〇収集・処理
	・災害発生後における生活ごみの収集運搬について、体制の構築実例を紹介
	いただきたい。
	│ │ 〇仮置場
	│○仮旦場 │・仮置き場の必要面積・箇所の算定。
	・版置さ場の必要面積・箇所の昇足。 ・仮置場を設置する場所がなかなか見当たらないので、何か方法があれば教
	これには、
	2 CU12 2 2 U C 9 0
	〇補助金
	・補助金事務のポイントや申請事例と実際の苦労話をアドバイスいただきた
	にある。
	│ ・補助金申請事務について、膨大な時間がかかるとの説明もあったかと思う │
	が、負担軽減のために平常時からできることがあれば、教えて下さい。ま
	た、発災時に慌てることがないよう補助金請求を見越した、し尿処理に関
	する業務日誌や仮設トイレ設置に関する集計表などの参考となる様式が
	あれば、ご提供いただけると幸いです。
	○協定
	・民間事業者との協定についてもっと詳しく聞いたい。
	・民間事業者の協定についてもっと事例等を聞きたい。協定が実際にどれほ
	ど役に立ったか事例を知りたい。
	・発災後の仮設トイレの確保の必要性は分かりましたが、近隣市町も同じ業

項目	自由意見
	者と協定を結んでいます。依頼の早さの競争ではありませんが、同じ被害 を受けている場合の各市町の公平さについて。
	 ○災害廃棄物処理の初動やタイムライン ・発災直後に廃棄物担当部署として実施すべき事項やタイムラインのようなものを勉強会で教示いただければ有難いです。 ・ご講演、貴重な話、ありがとうございました。今後の機会にて、し尿「収集」に係る、災害後一番バタついている初動期の情報収集伝達の実情など、ご教示いただければ幸いです。(例えば、被災地し尿収集世帯の情報把握方法、当日の収集業者(委託・許可)の災害収集体制移行までの流れ、収集業者への被災し尿収集場所の伝達方法、収集計画など)
	〇災害廃棄物処理の事例 ・町村等小規模自治体での災害廃棄物対応事例をもっと聞いてみたい。 ・過去の災害経験・情報を踏まえた、発災後の組織体制・指揮命令系統のあり方や注意点について聞きたい。また、発災後の官民連携や避難者との協力の好事例など併せて伺いたい。 ・本町は職員が少なく、廃棄物部局が災害対応に含まれている場合の災害廃棄物の対応について実際に災害廃棄物対応された自治体を参考にしたい。
その他感想・要望等	・研修後に動画配信で視聴できるような形式にしてほしい ・貴重な機会を設けていただき、ありがとうございました ・大変有意義な研修でした。 ・し尿対策の重要性を伝え、自治体がそれを認識し個々に対策強化を図らなければならないことは、もっともなことですが、市街化が進み汲み取り人口が減少するなか、し尿処理事業者及び処理施設もともに縮小されています。その反面で、災害は全国的に頻発しており、し尿処理関連の機材は年間を通して一定の需要があるのですから、国が仮設トイレやバキュームカーを一定量確保し、被災地に貸与するようなことを考えていただければと感じました。 ・被災自治体の意向に大きく左右されるが、実際の廃棄物処理現場を自身で体験したい(可能であれば事務処理職員の一員として参画したい。)⇒机上における研修、勉強会で得るものも多いが、五感で感じたことは実体験に勝るものはないと考えているため、そのような機会があればと考える。・これまで災害時に発生するし尿に着目した研修はなかったので、新しいり組みでよかったです。災害時には様々なフェーズが発生するので、例えば仮置場運営、住民広報等具体的にテーマを絞り込んだ研修があってもよいと思います。

(3) アンケート結果 (災害廃棄物処理担当者向け勉強会 (第2回))

①参加者の所属

アンケート回答者は自治体職員が91%であり、その他が9%であった。

図表 7-27 参加者の所属

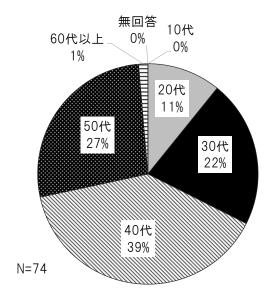
所属	回答数	回答率
自治体職員	67	91%
その他	7	9%
無回答	0	0%
合計	74	100%

②参加者の年代

アンケート回答者の年齢は、39%が40代、次いで50代が27%であった。

図表 7-28 参加者の年代

参加者の年齢	回答数	回答率
10 代	0	0%
20 代	8	11%
30 代	16	22%
40 代	29	39%
50 代	20	27%
60 代以上	1	1%
無回答	0	0%
合計	74	100%



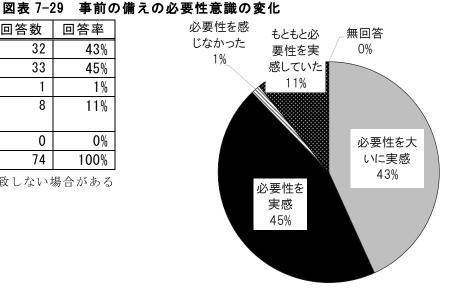
③災害廃棄物処理対策の事前の備えの必要性意識の変化

セミナー参加前後の意識の変化は、セミナーを受講し必要性を「大いに実感」、「実感」 した回答が88%であり、セミナーを通じて災害廃棄物処理対策の事前の備えに対する意 識の向上につながったと考えられる。

項目 回答数 回答率 必要性を大いに実感 32 43% 33 45% 1 1%

必要性を実感 必要性を感じなかった もともと必要性を 8 11% 実感していた 0 無回答 0% 74 合計 100%

注) 四捨五入のため計が一致しない場合がある



図表 7-30 興味を持った事項等

		意見の内容							
No	意見・感想	本制・内容を	体制の構築	事前準備	事前計画	協定締結の連携	実施が研修の	発災後の対応	その他
1	受援体制の構築・必要性。仮置き場開場に際してのマニュアル整備。廃棄物担当課のみではなく、庁内各関係課との事前からの連携調整。		•		•	•			
2	受援体制を整える必要があると感じた。		•						
3	仮置き場や住民用集積所の設置について非常に参考に なった。							•	
4	プッシュ式支援はありがたいシステムであること。	•							
5	災害が起きてから早急に仮置き場を設置し、そこでも分別を徹底する必要性を感じた。							•	
6	災害時の車両確保手段として、リース会社との協定を結 んでおくという手法があることを知った。					•			
7	事前準備								
8	支援側の話、受援側の話	•							
9	八代市さまの処理計画策定のポイントの説明が特に興 味深く、実効性の高い内容で勉強になった。				•				
10	災害支援について、実際に現場でどう対応できるか。	•							
11	平常時からの備えと発災後の各部門の役割分担、受援の 流れ 等	•		•					
12	仮置き場設置							•	
13	実際に受援団体・支援団体の両方の経験談を聞くことができて良かった。どちらの市も事前に準備ができており、改めて事前に想定し、準備することがいかに大切か知ることができた。							•	

		意見の内容							
No	意見・感想	体制・内容 支援・受援の	体制の構築	事前準備	事前計画	協定締結の連携	実施が研修の	発災後の対応	その他
14	効率化という点では目の敵にされるが廃棄処理の安全 保障体制として余裕のある体制作りは必要であると感 じた。		•						
15	災害廃棄物処理計画の必要性を感じた。				•				ļ
16 17	経験がないことを訓練することで補うこと。						•		
18	実践的な模擬訓練の必要性を感じた。 実際に被災した地域の方や支援している自治体の生の								
10	体験談を聞けたのは非常に有意義だった。自分が所属している自治体や近隣の自治体でいつ災害が起こるかわからないのでできる限りの事前準備はしておかなければいけないと感じた。今後もこういった勉強会や研修会			•			•		
19	を定期的に開催していただけると助かる。 近畿地方は災害が少ない地域だからこそ、災害時の廃棄 物処理をどのように行うのか話し合い、考える場を設け たり、災害時の廃棄物処理の訓練が必要だと感じた。						•		
20	全都清を通じた全国的な支援体制について、詳しい内容 が知りたい。	•							
21	災害発生時の受援・支援がスムーズに行くように経験、 発生後の情報収集と統制が大切なこと、また災害廃棄物 の分別、処理に必要な機器、車両等の必要性、手配など 準備しておく必要性など、改めて確認が出来た。			•				•	
22	大規模災害において、支援と受援がスムーズにできれば 復旧が早くなると感じた。特に八代市様の事例は参考に なった。	•					•		
23	災害派遣での課題や対策など	•							
24	復旧作業のなかで、高齢化が進み自力での作業の限界が								
0.5	見えボランティアと受援の必要が大事である。							_	
25 26	冷蔵庫の中身の整理 - 次置き場選定、支援、受援などは他部署や他組織とも平時からの調整が必要だと痛感した。また災害廃棄物担当者以外も、災害廃棄物の存在と処理フロー、支援受援の流れを理解し、防災計画等に取り組む必要があると感じた。				•	•			
27	び害廃棄物の仮置場の場所の選定は災害対策本部で決定し、運用は現場に任せることについて。					•			
28	支援側と受援側のそれぞれの調整内容等経験されてきたことの紹介は大変参考になった。	•							
29	先遣隊の重要性、事前の情報共有、パワーゲート車両・リヤカーの活用、職員の労務管理	•						•	
30	被災地復興のため災害廃棄物をいかに早く撤去、処理するか。 ※実味にスピード原本株・アヤウオスを持ちます。							•	
31	災害時にスピード感を持って対応するために、支援をする側・受ける側それぞれの準備が非常に重要だと感じた。実際の災害時の事例でスムーズに対応できた事例や そうでない事例を聞くことができ、参考になった。	•							
32	すべての講演が参考になった。実際に対応しないとわからないことが多いと感じた。自分の自治体で適正に処理できるよう、災害を受けた自治体の支援に積極的に参加すべきと思った。	•							
33	被災時には支援の受け方も非常に重要となることを痛感した。被災時にはやるべきことが数多くあると思うので、事前に対応方法を決めておけることは決めておくことが重要だと感じた。今日の勉強会の内容を今後の対応に活用していきたい。	•		•					

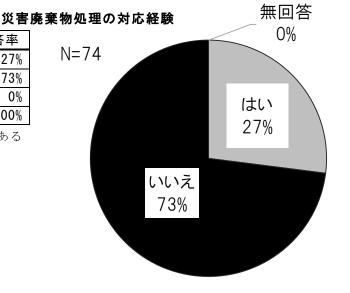
		意見の内容							
No	意見・感想	体制・内容支援・受援の	体制の構築	事前準備	事前計画	協定締結の連携	実施が研修の	発災後の対応	その他
34	仮置き場には、分別を徹底するため住民さんに直接搬入させない。仮置き場の設営で鉄板が必要であること。冷蔵庫については、事前に中身を廃棄しないと大変なことになるなど、実際に対応した方でないと分からない話をい聞けたこと。上記のようなことも含め経験者の話を元に具体的なマニュアルの作成の必要を感じた。また、被災を経験された方の想定を越えた対応が必要になるという話が印象的だった。京都市さんの職員の高齢化という話が当市でも同じ状況であり、考えていく必要性を感じた。		•		•			•	
35	一次仮置場に市民が直接持ち込まない仕組みを構築することで、分別の徹底を図るといった取組がとても興味 深かった。							•	
36	支援側の先遣隊の判断が重要である。	•							
37	災害廃棄物に係る過去の経験が大いに参考になった。 建設機械のリース会社との協定内容について詳しく知 りたかった。仮置場の維持管理について、廃棄物の選別 作業の苦労、支援側・受援側の役割が参考になった。災 害経験がない団体でも積極的に支援にいくことで経験 を積むことが必要だと感じた。	•				•		•	
39	広島市の災害廃棄物の案内パンフレット			•					
40	災害廃棄物処理計画の制定について。				•				
41	支援側の立場から見た収集運搬について、今までなかった聞いたことがなかった講演だったので参考になった。 一次仮置きの前に地区単位での仮置き場ができれば、一 時仮置きでの分別や道路の通行もスムーズにいくと感 じた。	•						•	
42	支援側からの報告が興味深かった。受援側の対応も支援 を円滑に進めるためには重要だという事がよくわかっ た。	•							
43	災害廃棄物仮置き場の確保、受援とボランティアの必要性、災害廃棄物処理計画マニュアルの策定、先遣隊の派遣、災害派遣を踏まえた実務研修。	•			•		•	•	
44	全国都市清掃会議による収集運搬支援のタイミングと 支援内容	•							
45	又版内台 「仮置き場の場所の決定など部署間で調整がいるよう な面倒なことは、災害対策本部で決める」は、目から鱗 だった。日頃からの退蔵品の整理や処分。					•			•
46	計画を策定含めて、普段より関係部署を巻き込んでおく 必要があることはとてもよく理解できた。職員の異動が ある中でこれまで得た災害に係る知見をどのように引 き継ぐかにも興味を持った。					•	•		
47	八代市の方が発言されていた内容の中で、このような支援をしてもらえるとありがたいと具体的な内容を言われていたが、そういった生の声が本当に必要な内容であるのだと参考になった。	•							
48	災害発生からの行動を、担当別ではなく同時に時系列に 説明してくださったのがわかりやすかった。							•	
49	受援側の知識が無かったので、受入側の話、応援側の話 を知れて良かった。	•							
50	八代市の話で仮置場の選定は災害対策本部で決めると していること。あえてややこしい調整をそういう型で決 定するということは参考になった。					•			
51	市民による直接搬入(仮置場)							•	

					意見	の内容			
No	意見・感想	体制・内容支援・受援の	体制の構築	事前準備	事前計画	協定締結の連携	実施訓練や研修の	発災後の対応	その他
52	市役所が被災した際のマンパワーの確保。							•	
53	仮置場の運用							•	
54	受援体制の構築	•							
55	仮置場についての選定、対外派遣についての詳細	•						•	
56	個別収集、巡回収集								
57	個別収集							•	
68	災害派遣経験者の減少により、実際の被災時に速やかに 動けるか、事前の準備の必要性を感じた。			•					
59	災害廃棄物の収集運搬の実情							•	
60	仮置場は災害対策本部が決定する								
61	プッシュ型の支援の必要性、市民仮置場について、衛生 対応、仮設トイレの必要性を感じ、興味を持った。	•						•	

④災害廃棄物処理の対応経験

災害廃棄物処理の対応経験は、経験なしが80%、経験ありが20%の回答であった。

	凶表 /-	-31 災害
項目	回答数	回答率
はい	20	27%
いいえ	54	73%
無回答	0	0%
合計	74	100%

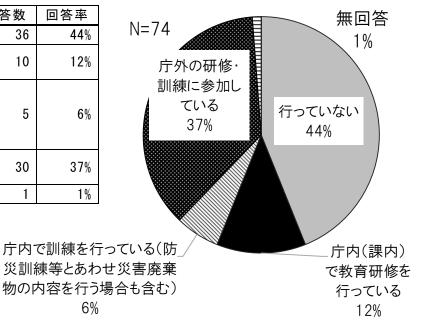


⑤災害廃棄物処理に関する研修・訓練等の実施有無

災害廃棄物処理に関する研修・訓練等は、「庁外の研修・訓練に参加している」が 37% の一方で、「行っていない」が 44%であった。

図表 7-32 災害廃棄物処理に関する研修・訓練等の実施有無(複数回答、N=74)

項目	回答数	回答率
行っていない	36	44%
庁内(課内)で教育研修を 行っている	10	12%
庁内で訓練を行っている (防災訓練等とあわせ災 害廃棄物の内容を行う場 合も含む)	5	6%
庁外の研修・訓練に参加し ている	30	37%
無回答	1	1%



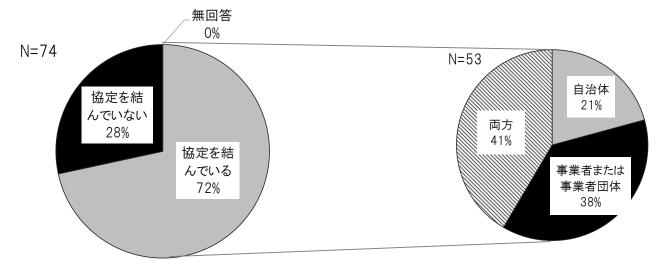
⑥所属機関(団体)の災害廃棄物処理に関する協定締結状況及び締結先

災害廃棄物処理に関する協定を「締結していない」と回答した団体が 28%あった。 災害廃棄物処理に関する協定を締結している団体は 72%であった。

締結先は、自治体、事業者の両方締結の回答が 41%で最も高かった。「事業所または 事業者団体」の締結の回答は 38%であった。

図表 7-33 災害廃棄物処理に関する協定締結状況及び締結先

項目		回答数	回答率
はい		53	72% (100%)
	自治体	(11)	(20%)
	事業者または事業者団体	(20)	(38%)
	両方	(22)	(41%)
いいえ		21	28%
無回答		0	0%
合計		74	100%



⑦災害廃棄物の集積場や仮置場の設置、収集運搬に関し、庁内の組織や運搬事業者、住 民などとの事前調整の有無

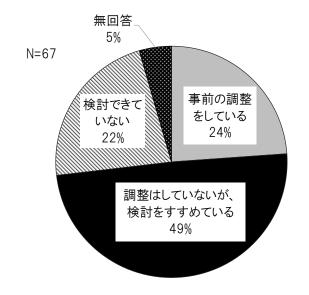
災害廃棄物の集積場や仮置場の設置、収集運搬に関し、庁内の組織や運搬事業者、住民などとの事前調整の有無について確認した。

事前調整を行っている回答は24%、「調整はしていないが、検討をすすめている」は49%、「検討できていない」は22%であった。

図表 7-34 災害時のボランティア活用に備えた事前調整の有無(自治体のみ)

項目	回答数	回答率
事前の調整をしている	16	24%
調整はしていないが、	33	49%
検討をすすめている	33	43/0
検討できていない	15	22%
無回答	3	5%
合計	67	100%

注) 四捨五入のため計が一致しない場合がある



検討できていない理由

事前調整を行うきっかけがなく、他業務に追われているため

当組合は中間処理施設であり、収集等は構成市町の所掌事務のため。

災害廃棄物処理は第一の対応主体は市町村であるため。

災害時の廃棄物処理についての調整をしているのを聞いたことがないから。

人的に余裕がなく、現時点で検討できていません。

公有地が非常に狭く選定が困難な状況である為。

住民広報ができていない理由は、市民の反発や災害時に勝手に廃棄物を排出してしまう懸念材料があるため。

収集運搬の部署でないため。

住民等への説明が困難。

マンパワーの不足

- ・時間や人員が足りていない
- ・重要度が人によって違う

人員不足

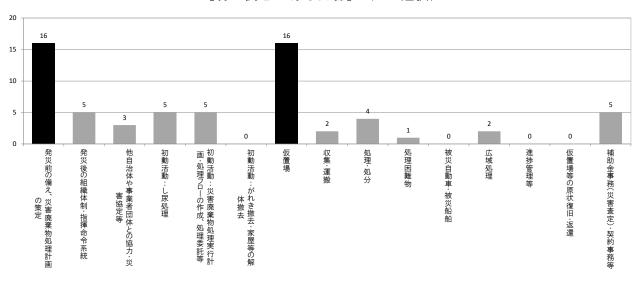
住民への開示を控えているため

⑧災害廃棄物処理に関して関心のある内容

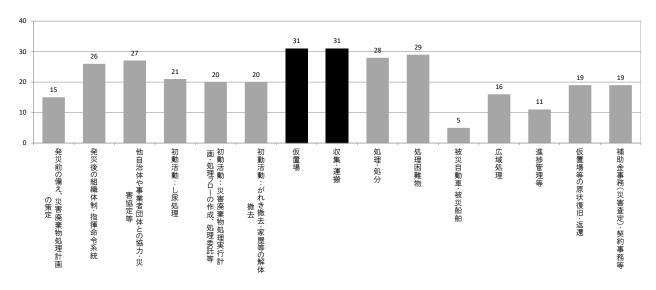
災害廃棄物処理に関し、特に関心のある内容は「発災前の備え、災害廃棄物処理計画の策定」と「仮置場」であった。

関心のある内容は、「仮置場」、「収集・運搬」の回答数が多かった。

図表 7-35 災害廃棄物処理に関して関心のある内容 [特に関心のある内容] (1 つ選択)



[関心のある内容] (複数回答)



9今後のセミナーテーマ、感想など

今回の研修会のテーマに関係する「仮置場」や「支援受援」などのほか、「災害廃棄物の処理方法」、「処理困難物」、「協定」等に関する意見があった。

また、具体的なテーマに関する研修であったことから、「発災後の具体的な対応内容」 についての意見も複数みられた。

図表 7-36 具体的に詳しく聞きたい事項、本日の感想等

項目	自由意見
詳しく聞きたい事項	○仮置場 ・仮置場への運搬に関するノウハウ(運搬効率面で) ・仮置場の必要面積・箇所の算定、用地選定方法。 ・地震等の災害で一次仮置き場の災害廃棄物や処理困難物の処理方法や処理 期間はどのようにしているのか。また、一時仮置き場などの災害廃棄物置 き場の修復方法(土の入れ替えや土壌や水質等の測定等行っているのか) は何かを行っているのか聞きたい。 ・今後の聞きたい事項としては、計画で予定していた仮置場が使えない場合 に新たに仮置場を選定する際の留意点や、事前に業者等と協定を結んでい ない場合における仮置場運営や仮置場から先の処分先等の確保ための留 意点等について聞きたいです。その他、災害報告書作成の際の留意点など。
	○支援受援・受援マニュアルの共有化(対応を同じにするというみではなく、自治体ごとの差異を明確にするマニュアル化による広域かつ多様な受援態勢の構築について・全都清について
	〇災害廃棄物の処理方法 ・災害廃棄物の処理方法について聞きたい(可燃、不燃、リサイクルされる ものの割合とかどこで処理されたか、また処理の受け入れ先、費用などに ついて)
	〇処理困難物 ・処理困難物の処理について具体的に聞いてみたい。
	〇協定 ・民間事業者との協定に関してどのような協定等締結していることが必要かなど。 ・民間事業者との協定について詳しく聞きたい。
	○発災後の具体的な対応内容 ・被災自治体の経験からの教訓がかなり蓄積されてきていると思いますので、それらを包含したモデルケース(水害、地震等の災害種別毎の)を構築していただき、説明会をしてほしいです。また、仮置場の必要面積が確保できない場合の代替案の紹介についてお聞きしたいです。 ・環境省からのかかわり方がどのように(どのレベルの災害で出動となって含)行われて、何を(どんなこと)してもらえるのか(過去の事例を時系列で整理した形でお伺いしたい) ・現場の職員(事務職・清掃員)の具体的な対応や時系列ごとの対応・問題
	点、通常業務と災害対応の両立などについてテーマとして聞きたい。 ・災害対応に従事した方の、ある1日の業務スケジュールについてどういう 感じなのか、写真などを見せていただきながら、ざっくばらんに聞いてみ

項目	自由意見
	たい。 ・災害廃棄物が発生した際に対応するより具現化した内容(フロー)を実体験から織り込んだ点も踏まえて聞いてみたいです。
その他感想・要望等	 ・自分自身に災害対応及び支援の経験がないので、非常に貴重な体験談を聞かせていただいたと感謝しています。 ・最後の意見交換は、ハンドマイクでお話しくださったので、聞き取りやすかったのですが、檀上でお話しくださった場合に、マイクが遠いためか非常に聞き取りづらかったです。 ・チャット機能を使用した質問も対応してほしい。 ・経験に基づいた貴重なお話をありがとうございました。 ・今回の研修のように実際に経験された方のお話を聞くことが一番対応や準備の必要性を感じられる研修になるので非常に良いと感じました。今後も万一に備え、遠方の自治体のご経験も web などでお話をする機会を設けていただければと思います。 ・実践に応じた研修で分かりやすく良かったです。 ・経験機会(体験会)